

取扱説明書 詳細編

ワイヤレスプレゼンテーションシステム

業務用

品番 **TY-WPS2**

WPS 基本セット

TY-WPSC2

WPS USB-C 基本セット

TY-WPB2

WPS 送信機

TY-WPBC2

WPS USB-C 送信機

TY-WPR2

WPS 受信機

* WPS とは「Wireless Presentation System」の略称です。



PressIT

* PressIT は「Wireless Presentation System」の愛称です。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(P.3～5 ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- この取扱説明書は、TY-WPS2、TY-WPSC2、TY-WPB2、TY-WPBC2、TY-WPR2 共用です。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。
お買い上げの際は、製品本体の製造番号をお確かめください。

日本語

安全上のご注意	3	ファームウェアのアップデート	52
はじめに	6	受信機のファームウェアのアップデート	52
こんなことができます	6	送信機のファームウェアアップデート	53
使用上のお願い	6	送信機のファームウェアバージョンの確認	
ネットワークポートに関するご案内	7	方法	54
本機の無線機能について	8	受信機の設置方法	55
セキュリティに関するお願い	9	受信機取付金具の構成部品	55
本体・付属品の確認	10	ベース金具の取り付け	55
各部の名称	11	天井や壁面への取り付け	55
WPS1 シリーズの機器との接続について	13	プロジェクターへの取り付け例	56
接続	14	本製品で対応する映像信号	57
受信機の接続	14	修理を依頼される前に	58
送信機の接続	15	保証とアフターサービス	59
基本的な使い方	16	仕様	60
シングル接続	16	ソフトウェアライセンス	62
マルチ接続	16	商標について	62
本機が使用する周波数帯の特性と切り替え			
について	17		
映像の切り換えを固定する（固定モード）	18		
固定モードの設定	18		
固定モードの解除	18		
送信機の増設方法（ペアリング）	19		
受信機と送信機を接続してペアリングする	19		
無線 LAN 経由で遠隔から受信機と送信機を			
ペアリングする	20		
LAN 接続について	21		
Android 端末での使用方法（Android 5.0 以降）	22		
Android 端末でアプリを使用し、受信機が			
発信する無線 LAN に接続して使用する	22		
Android 端末でアプリを使用し、外部の無			
線 LAN に接続して使用する	22		
設定	24		
待機画面について	24		
Web 設定画面を表示する	27		
Web 設定画面から各種設定を行う	30		
「初期設定」メニュー（ディスプレイ設定）	44		
HDMI-CEC 機能を使う	49		

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

異常・故障時は直ちに使用を中止してください

異常があったときは電源プラグを抜いてください

- 煙が出たり、異常な臭いや音が出る
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水などの液体や異物が入った
- 本機に変形や破損した部分がある



電源プラグ
を抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

- 電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
- 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。
- お客様による修理は危険ですから、おやめください。
- 電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。

異物を入れないでください

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。



火災・感電の原因となります。

- 特にお子様にはご注意ください。

AC アダプターについて

AC アダプターや AC アダプターケーブルは本機に付属のもの以外は使用しないでください



付属以外の AC アダプターや AC アダプターケーブルを使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。

電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をしてください



湿気などでショートし火災・感電の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

警告

AC アダプターについて (つづき)

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください



感電の原因となります。

ぬれ手禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 ~ 240 V 以外では使用しないでください



たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により火災の原因となります。

電源プラグは、根元まで確実に差し込んでください



差し込みが不完全であると、感電や発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントのまま使用しないでください。

AC アダプターや電源プラグを破損するようなことはしないでください

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねる など)



ショート、断線により火災・感電の原因となります。

- AC アダプターや電源プラグの修理は、販売店にご依頼ください。

心臓ペースメーカーの装着部位から 15cm 以上離して使用してください



電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

航空機内で使用しないでください



運航の安全に支障をきたす恐れがあります。

自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで使用しないでください



本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

病院内や医療機器のある場所では使用しないでください



本機からの電波が医療機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

長時間触れて使用しないでください



本機や AC アダプターの温度の高い部分に長時間触れていると、低温やけど*の原因になります。

* 血流状態が悪い人 (血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている) や皮膚感覚が弱い人 (高齢者) など、低温やけどになりやすい傾向があります。

雷が鳴りだしたら本機や AC アダプターには触れないでください



感電の原因となります。

接触禁止

ぬらしたりしないでください



火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

不安定な場所に置かないでください



ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

裏ぶた (キャビネット) を外したり、改造したりしないでください



分解禁止

受信機に付属のねじは乳幼児の手の届くところに置かないでください



誤って飲み込む恐れがあります。
● 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

警告

設置工事や取り付けは、工事専門業者または販売店にご依頼ください



工事や取り付けが不完全ですと、落下事故の原因となります。

- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。

使用中は送信機の底面に触れないでください



使用中や使用後しばらくは、送信機の底面が熱くなることがありますので、やけどの原因になります。

また、熱に弱い物の上に置かないでください。変形や変色の原因となります。

注意

本機の通風孔をふさがないでください
風通しの悪い狭い所に押し込まないでください



内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

本機の上に重いものを載せないでください



火災や故障の原因となることがあります。

温度の高い所、湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かないでください



火災・感電の原因となることがあります。

接続ケーブルを取り外すときは、必ずコネクター部を持って抜いてください



コードを引っ張ると、コードが破損し、感電・ショートによる火災の原因となることがあります。

移動させる場合は、機器の接続ケーブルを外してください



コードや本機が破損し、火災・感電の原因となることがあります。

長期間で使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください



電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

接続ケーブルを引っ張ったり、ひっかけたりしないでください



倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に、お子様にはご注意ください。

送信機に磁気カードや磁気ディスクなど磁力により影響を受けるものを近づけないでください



お手入れについて

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください



感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

はじめに

こんなことができます

ワイヤレスプレゼンテーションシステムは、映像出力機器に表示されている画面を離れた場所に設置したディスプレイやプロジェクターにミラーリング（投映）することができます。

スマートフォンやノートパソコンなどの小さな画面を大画面で表示できますので、大型ディスプレイを使用して会議でプレゼンテーション資料を見せたいときや映像を大きなディスプレイで楽しみたいとき、ケーブルの配線が難しい場所にディスプレイを設置して映像を流したいときなどに便利です。

本システムは送信機と受信機で構成されており、映像出力機器の画像を送信機で無線 LAN（Wireless LAN）を使って受信機に送信します。

また、送信機を使わずにモバイル機器（Android 端末）から受信機に画像を送信することもできます。次のような方法で映像出力機器の画像をディスプレイやプロジェクターなどに表示できます。

- ① 送信機を使って映像出力機器の映像を受信機に送り、ディスプレイやプロジェクターに表示する。
- ② 専用のアプリケーションを使ってモバイル機器（Android 端末）の映像を直接受信機に送り、ディスプレイやプロジェクターに表示する。
- ③ 専用のアプリケーションを使ってモバイル機器（Android 端末）の映像を外部の無線 LAN 経由で受信機に送り、ディスプレイやプロジェクターに表示する。

お知らせ

- ・ご利用の環境により、アプリケーションや Web 設定の画面表示の内容が一部異なる場合があります。

使用上のお願い

■本機を運搬されるとき

運搬の際は、過度の振動や衝撃を加えないようにお取り扱いください。

内部の部品が痛み、故障の原因になります。

■本機を設置されるとき

屋外に設置しないでください。

電波関連の法律により、本機は屋内専用です。屋外での使用は禁止されています。

以下の場所に設置しないでください。

- ・車両・船舶など、振動や衝撃が加わる場所：内部の部品が傷み、故障の原因になります。
- ・海の近くや腐食性ガスが発生する場所：部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。
- ・高圧電線や動力源の近く：妨害を受ける場合があります。

海拔 2 700 m 以上の場所に設置しないでください。

部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

本機の使用環境温度は、海拔 1 400 m 未満で使用する場合は 0℃～35℃、海拔 1 400 m 以上～2 700 m 未満で使用する場合は 0℃～30℃です。

本機の吸気口 / 排気口をふさいだり、吸排気を妨げたりするような状態で使用しないでください。


内部の部品が傷み、故障の原因になります。

設置環境の不具合による製品の破損などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。

送信機・受信機とも常時電源を入れた状態になることは避けてください。

電源を入れたままの場合、パフォーマンスが低下する場合があります。

パフォーマンスを維持するために以下を行うことを推奨します。

- ・24 時間ごとに受信機および送信機の電源を切り、再度電源を入れる。
- ・「再起動指定」機能（ 33 ページ）を使用する。

■有線 LAN について

静電気が起きやすい場所では、十分な遮へい対策を行ってから使用してください。

じゅうたんなどの静電気が多く発生するような場所で本機を使用する場合、有線 LAN での通信が切れやすくなります。このような場合は、静電防止マットなどを使用して問題となる静電気やノイズ源を本機やケーブルの近くから取り除いてください。

まれに静電気やノイズにより LAN 接続ができなくなる場合があります。このような場合は、本機および本機と接続している機器の電源をいったん切ったあと、再度、電源を入れてください。

近くに強い電波を発生する設備や機器がある場合は、それらの機器から十分に離して設置してください。

■お手入れについて

必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

筐体の汚れは柔らかい布（綿・ネル地など）で軽くふく

●ひどい汚れや指紋汚れなどは、水で 100 倍に薄めた中性洗剤に布をひたし、固く絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

●水滴が内部に入ると故障の原因になります。

化学ぞうきんのご使用について

●ご使用の際はその注意書きに従ってください。

殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない

●筐体の破損や塗装がはがれる原因になります。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。

アルコールのご使用について

●容量濃度 60%以下のアルコール少量を柔らかい布にひたし拭き取った後、必ず乾いた布で拭いてください。

固い布で拭いたり、強くこすったりすると傷がつく原因となりますのでご注意ください。また、故障の原因となりますので水滴が内部に入らないようにし、アルコールは直接噴霧しないでください。

●アルコール以外の消毒液を使用しないでください。

■廃棄について

製品を廃棄する際は、最寄りの市町村窓口または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

ネットワークポートに関するご案内

本製品は、映像・音声・制御信号を無線通信により伝送するため、以下のネットワークポートを使用しています。

使用されるポート一覧

	PORT	STATE	Description
UDP	67/udp	open	DHCP server
	1900/udp	open/filtered	SSDP-UPNP protocol
	2425/udp	open/filtered	Transmitter/Receiver communication and transmission
	34303/udp	open/filtered	main process random port
	63630/udp	open/filtered	Transmitter/Receiver communication and transmission
	PORT	STATE	Description
TCP	53/tcp	open	DNS server
	80/tcp	open	Web server. FW Update
	443/tcp	open	FW Update
	2425/tcp	open	Transmitter/Receiver communication and transmission
	2426/tcp	open	Transmitter/Receiver communication and transmission
	7171/tcp	open	Wireless Display Streaming
	7250/tcp	open	Wireless Display Infrastructure
	38207/tcp	open	main process random port
	63630/tcp	open	Transmitter/Receiver communication and transmission

※使用されるポートは製品のファームウェアバージョンや設定により異なる場合があります。

本機の無線機能について

本機の無線機能は、2.4 GHz/5 GHz (W52)/6 GHz 帯域の電波を使用します。
下記の内容を十分理解してご使用ください。

ほかの無線機器の近くで使用しないでください。
この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止したうえ、パナソニック 業務用ディスプレイサポートセンターにご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、パナソニック 業務用ディスプレイサポートセンターへお問い合わせください。

本機は、屋内で使用してください。

- 本機は 5 GHz 帯 (W52) および 6 GHz 帯を使用する無線装置です。屋外で使用することは、電波法で禁止されています。

本機の近くでは、携帯電話・テレビ・ラジオをできるだけ使用しないでください。

- 携帯電話・テレビ・ラジオなどは、本機と違う帯域の電波を使用しておりますので、無線 LAN の通信や、これらの機器の送受信には影響ありません。しかし、本機からの電波により、音声や映像にノイズが発生することがあります。

鉄筋・金属・コンクリートなどは、無線 LAN 通信の電波を通しません。

- 木材やガラス（金属メッシュ入りガラスを除く）などの壁や床を通して通信することはできますが、鉄筋・金属・コンクリートなどの壁や床を通して通信することはできません。

放送局や無線機からの強い電波により、正常に動作しない場合があります。

- 近くに強い電波を発生する設備や機器がある場合は、それらの機器から十分に離して設置してください。

国外での取り扱いについて

- 本機は、お買い求めの国または地域からの持ち出しが禁止されていますので、お買い求めの国または地域でのみ使用してください。また、無線 LAN を使用できるチャンネルや周波数は国や地域により制限があります。

インターネットへの接続について

- 本製品は電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等）の通信回線（公衆 LAN を含む）に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルーター等を經由してください。

2.4 DS/OF 4

この機器が、2.4 GHz 周波数帯（2400 から 2483.5 GHz）を利用する直接拡散（DS）方式 / 直交周波数分割変調（OF）の無線装置で、干渉距離が約 40 m であることを意味します。

受信機のご使用について

- 本機は、同一の部屋において、最大 24 台（すべての受信機が 6 GHz モード時）または 4 台（すべての受信機が 5 GHz 帯）の受信機を設置できます。確実に動作させるためには、それぞれの受信機が出力する無線周波数が重複しないように設定してください。
- 複数の部屋に受信機を設置する場合は、他の部屋に設置した受信機から漏れる電波の状況などによりますが、上記と同じく周波数が重複しないように設定することで使用できます。ただし、混信などが発生して正常に動作しない場合は、各部屋の受信機同士の直線距離を離すなどの処置を行ってください。

6 GHz モードの無線接続について

- ワイヤレスモードを 6 GHz で使用する場合、モバイル端末が 6 GHz の無線接続に対応した機器でないと接続ができません。
- 本機は PSC (Preferred Scanning Channel 「優先スキャンチャンネル」) 機能を搭載しています。この機能により、Wireless チャンネル設定を「Auto」にしている場合、デバイスが安定して接続できる可能性の高いチャンネルを選別し、それらのチャンネルが優先して選択されます。
- Wireless チャンネルを固定で設定する場合、モバイル端末によっては特定のチャンネルに設定したときに、SSID が表示されない可能性があります。

セキュリティに関するお願い

本機をご使用になる場合、次のような被害に遭うことが想定されます。

- 本機を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本機の不正操作
- 悪意の第三者による本機の妨害や停止
- パスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。
- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- パソコンや他の機器と同じパスワードを使用されないことを推奨します。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社およびその関係会社が、お客様に対して直接パスワードを照会することはありません。直接問い合わせがあっても、パスワードを答えないでください。
- ファイアウォールなどの設定により、安全性が確保されたネットワークでご使用ください。
- 廃棄時には、データの初期化を行ってから廃棄ください。
「リセットボタン」(11 ページ) をご覧ください。

セキュリティ対策を十分に行ってください。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

- 無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピューター等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。
 - ・ 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
 - ・ 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
などの行為をさせてしまう可能性があります。
- 本来、無線 LAN アダプターや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
- 無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が行われていない場合があります。セキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN 機器をご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定を、各々の無線 LAN 機器の取扱説明書に従って行ってください。
なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解のうえ、ご使用ください。
本機を無線 LAN で使用する際のセキュリティ設定について、お客様ご自身で対処できない場合には、お買い上げの販売店までお問い合わせください。
- セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

本体・付属品の確認


以下の本体・付属品が入っていることを確認してください。

WPS 基本セット TY-WPS2

• 本体

WPS 受信機 (TY-WPR2)	1	WPS 送信機 (TY-WPB2)	2
----------------------------	---	----------------------------	---

• 付属品


AC アダプター (DPVF4970ZA/X1)	1	AC アダプターケーブル (DPVF4960ZA/X1)	1	HDMI ケーブル (DPVF4971ZA/X1)	1
(変換プラグ 3 個を含む)					
USB 延長ケーブル (DPVF3513ZA/X1)	2	受信機取付金具 ( 55 ページ)	1	送信機ケース (DPVF5002ZA/X1)	1

WPS USB-C 基本セット TY-WPSC2

• 本体

WPS 受信機 (TY-WPR2)	1	WPS USB-C 送信機 (TY-WPBC2)	2
----------------------------	---	-----------------------------------	---

• 付属品

AC アダプター (DPVF4970ZA/X1)	1	AC アダプターケーブル (DPVF4960ZA/X1)	1	HDMI ケーブル (DPVF4971ZA/X1)	1
(変換プラグ 3 個を含む)					
ペアリング用変換アダプター (DPVF3516ZA/X1)	1	受信機取付金具 ( 55 ページ)	1	送信機ケース (DPVF5002ZA/X1)	1

WPS 送信機 TY-WPB2

• 本体

WPS 送信機 (TY-WPB2)	1
----------------------------	---

• 付属品

USB 延長ケーブル (DPVF3513ZA/X1)	1
-------------------------------------	---

WPS USB-C 送信機 TY-WPBC2

• 本体

WPS USB-C 送信機 (TY-WPBC2)	1
-----------------------------------	---

• 付属品


ペアリング用変換アダプター (DPVF3516ZA/X1)	1
--	---

WPS 受信機 TY-WPR2

• 本体

WPS 受信機 (TY-WPR2)	1
----------------------------	---

• 付属品

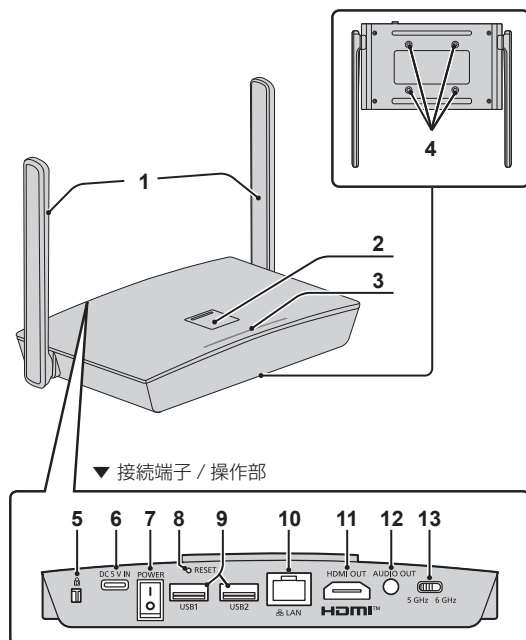
AC アダプター (DPVF4970ZA/X1)	1	AC アダプターケーブル (DPVF4960ZA/X1)	1	HDMI ケーブル (DPVF4971ZA/X1)	1
(変換プラグ 3 個を含む)					
受信機取付金具 ( 55 ページ)	1				

お願い

- 乳幼児の手の届かないところに、適切に保管してください。
- 付属品の品番は予告なく変更する場合があります。
(上記品番と実物の品番が異なる場合があります。)
- 付属品を紛失された場合は、お買い上げの販売店へご注文ください。(サービスルート扱い)
- 包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。

各部の名称

■ 受信機 (TY-WPR2)



- 1 アンテナ
- 2 FUNCTION ボタン / LED
機器の状態の表示や、遠隔ペアリング機能のときに使用します。
- 3 インジケーター
電源の状態や LAN、USB の接続の状態を表示します。
- 4 取付金具用ねじ穴 (P. 55 ページ)
取付金具に取り付ける場合に使用します。

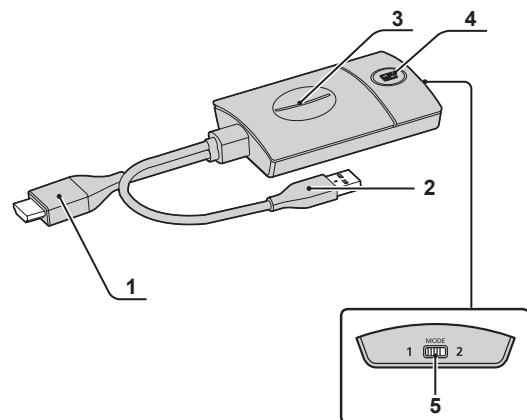
▼ 接続端子 / 操作部

- 5 セキュリティスロット
Noble Wedge スロットと互換性があります。
- 6 電源入力端子
- 7 電源スイッチ
受信機の電源を入 (I) / 切 (O) します。
- 8 リセットボタン
本機を工場出荷時の状態に戻します。
電源を供給した状態でリセットボタンを 5 秒以上押すとリセットを開始します。
約 1 分で初期化が完了します。
- 9 USB 端子 (Type-A)
ペアリングするときに送信機を接続します。
HID 機器を接続して使用します。
- 10 LAN 端子 (RJ45)
ネットワークに接続して本機の設定を変更します。
- 11 HDMI 出力端子
HDMI 入力がある映像機器を接続します。
- 12 音声出力端子
外部スピーカーなどを接続します。
- 13 無線帯域切り替えスイッチ (P. 17 ページ)
使用する帯域 (5 GHz、6 GHz) に応じて切り替えます。

※HID 機器

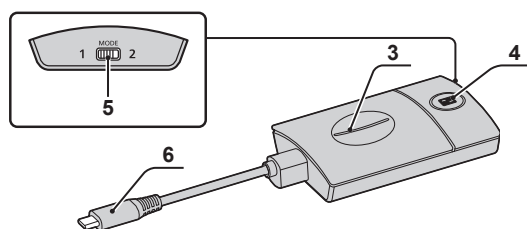
対応するマウスが動作します。HID 機器の USB ケーブルを接続した後に「Hid Driver loading...」と表示されますが、この表示が消えてから利用できます。

■ USB-A 送信機 (TY-WPB2)



- 1 **HDMI 入力端子**
HDMI 出力がある映像機器に接続します。
 - 2 **USB 端子 (Type-A)**
USB 給電機器に接続します。
 - 3 **メインボタン / LED**
映像表示の ON/OFF を切り換えます。
 - 4 **サブボタン / LED**
マルチ画面モードに切り換えます。
 - 5 **モードスイッチ**
モードスイッチを切り替えることで送信機に出力する解像度 (EDID) を変更できます。
 - モード 1 :
出力解像度は最大 1920 × 1080 60p までです。
 - モード 2 :
出力解像度は最大 4096 × 2160 30p までです。
- お知らせ**
- モードスイッチを切り替えたあとで最初に接続したときに、パソコンによっては動作が安定しないことがあります。そのときは、一度送信機を抜き差しするか、パソコンを再起動してください。
 - WPS1 シリーズの受信機と組み合わせて使用する場合は、「モード1」で使用してください。
- 6 **USB 端子 (Type-C)**
DisplayPort Alt Mode 出力対応の USB Type-C 端子がある映像機器に接続します。

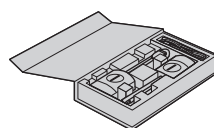
■ USB-C 送信機 (TY-WPBC2)



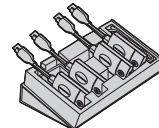
■ 送信機ケース

送信機 2 台 (最大 4 台) と USB 延長ケーブル (TY-WPS2/TY-WPB2 に付属) を収納できます。

<2 台置き>



<4 台置き>



WPS1 シリーズの機器との接続について

本機は WPS1 シリーズ (TY-WPB1、TY-WPBC1、TY-WPR1、TY-SB01WP) との互換性があります。

WPS2 の送信機や受信機と組み合わせて使用できますが、一部で使用頂けない条件があります。
詳しくは以下のお知らせをご参照ください。

お知らせ

- WPS1 シリーズの機器と組み合わせて使用する場合、WPS2 受信機の周波数帯を 5 GHz に設定して使用してください。WPS1 シリーズの機器は、6 GHz には対応していません。
- WPS1 シリーズの機器と組み合わせて使用する場合、WPS2 送信機に入力される解像度の設定が 3840 x 2160 では使用できません。3840 x 2160 に設定すると映像が映らない、遅延が発生するなどの症状が起きることがあります。
- WPS1 シリーズの受信機と WPS2 シリーズの送信機を組み合わせて使用する場合、WPS2 シリーズの送信機のモードスイッチを「モード 1」で使用してください。
- WPS1 シリーズの機器と組み合わせて使用する場合、無線 LAN 経由で遠隔から受信機と送信機をペアリングする機能は非対応になります。
- WPS1 シリーズの機器と組み合わせて使用する場合、ルーターを使用しないマルチキャスト（ルーターレスマルチキャスト）の機能は非対応になります。
- WPS1 シリーズの機器でのバージョンアップ方法で、WPS2 シリーズの機器をバージョンアップすることはできません。
- WPS2 シリーズの機器でのバージョンアップ方法で、WPS1 シリーズの機器をバージョンアップすることはできません。

接続

接続の前に、本システムと接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
各機器の電源を切ってからケーブルを接続してください。

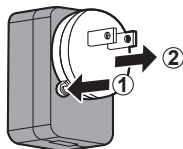
受信機の接続

1 受信機に給電用の AC アダプターと AC アダプターケーブルを接続します。

▶ コンセントの形状に適合した AC アダプター変換プラグをご使用ください。

< 外し方 >

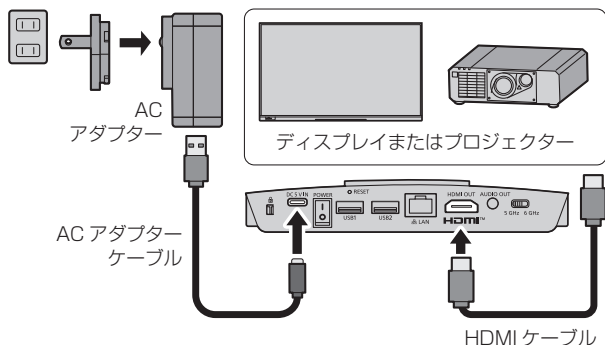
- ① ボタンを押して
- ② 外す



お知らせ

- コンセントに接続した状態で AC アダプター変換プラグを外さないでください。

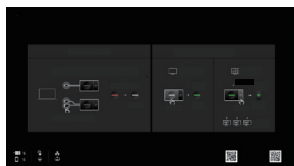
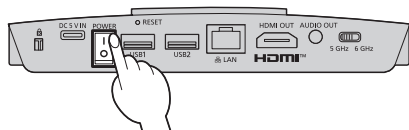
2 ディスプレイやプロジェクターなどの表示機器と受信機を HDMI ケーブルで接続します。



お知らせ

- 受信機への給電には付属品の AC アダプターまたは 5 V/2 A の USB 給電機器を使用してください。

3 受信機の電源スイッチを「I」側に倒して電源を入れます。表示機器に待機画面が表示されたら、受信機側の準備は完了です。

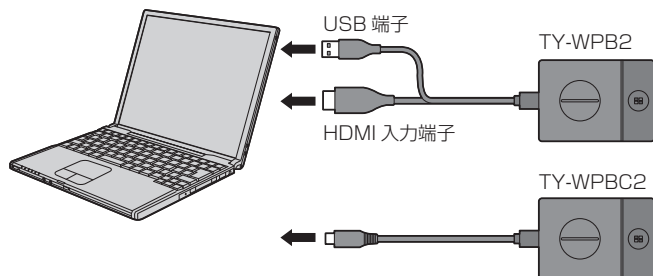


待機画面

送信機の接続

1 送信機の USB 端子と HDMI 入力端子を映像出力機器に接続します。

- 送信機への給電には 5 V/0.9 A の電源が必要です。

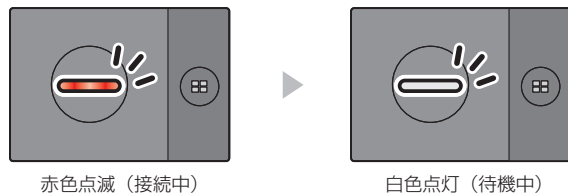


USB-C 送信機の場合は USB 端子（Type-C）を映像出力機器に接続します。

お知らせ

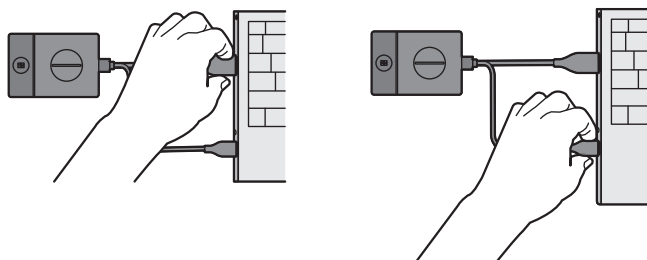
- 映像出力機器の USB Type-C 端子には次の機能が必要です。機器の仕様をご確認のうえご使用ください。
 - DisplayPort Alt Mode（映像出力機能）
 - 接続した機器への給電機能（5 V/0.9 A）
 - 映像出力機器側が起動している状態で送信機と接続してください。

2 メイン LED は赤色点滅（接続中）→白色点灯（待機中）に変わります。

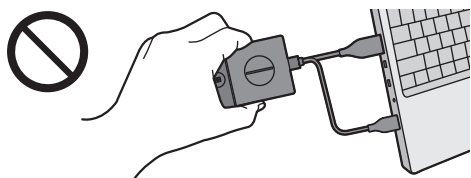


送信機取り扱い時のお願い

パソコンに接続した送信機本体を外すときは、ケーブルコネクタ部分を持って外してください。



本体を持ってケーブルを引っ張ると負荷がかかり、故障の原因となります。



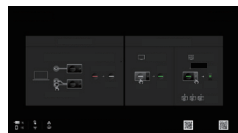
基本的な使い方

シングル接続

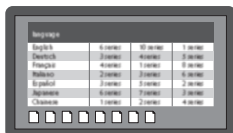
1 台の送信機を使用して映像表示する場合について説明します。

1 待機画面のときに、送信機のメインボタンを押す。

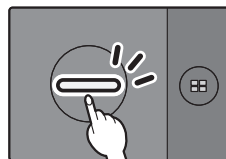
映像が表示されます。



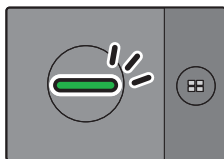
待機画面



全画面表示



白色点灯 (待機中)



緑色点灯 (表示中)

- ▶ もう一度メインボタンを押すと
メインLED は白色に変わり、待機状態に戻ります。
(画面も待機画面に戻ります。)

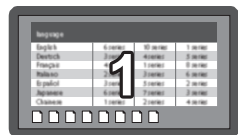
- 複数の送信機を使用した場合は、メインボタンを押した送信機の映像に切り換わります。

マルチ接続

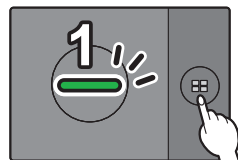
複数の送信機を使用して映像を同時に表示する場合について説明します。
最大で 4 台の送信機の映像を同時に表示することができます。

1 全画面表示のときに、送信機のサブボタンを 1 秒以上押す。

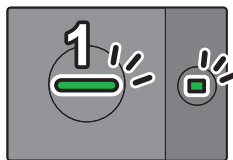
サブLED は緑色点灯に変わり、マルチ画面モードになります。



全画面表示



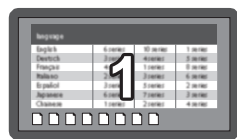
サブLED
消灯



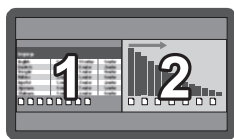
サブLED
緑色点灯
(マルチ画面モード)

2 映像を追加する送信機のメインボタンを押す。

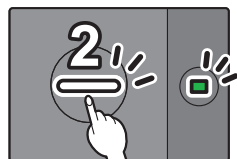
映像が追加されます。



全画面表示

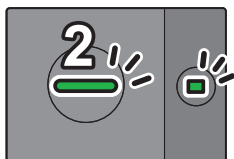


マルチ画面表示



白色点灯
(待機中)

サブ LED
緑色点灯



緑色点灯

サブ LED
緑色点灯

お知らせ

- マルチ画面表示時に音声は出力されません。

▶ マルチ画面モードの解除

送信機のサブボタンを 1 秒以上押す。

- サブ LED は緑色点灯から消灯に変わり、マルチ画面モードは解除されます。
- メイン LED が緑色点灯のときのみマルチ画面モードは解除可能です。

本機が使用する周波数帯の特性と切り替えについて

- 本機には送信機と受信機をつなぐ周波数帯を切り替える機能があります。
5 GHz 帯を使用するモード：5G モード
6 GHz 帯を使用するモード：6G モード
- 切り替えは受信機の無線帯域切り替えスイッチ (11 ページ) もしくは Web 設定ページから行えます。
- 6G モードであってもその他の周波数の電波が出力されている場合があります。
- 5G/6G モードの切り替えを行うと送信機とのペアリングが必要になります。

お知らせ

- 5G モードと 6G モードをスイッチで切り替える場合、受信機の電源を入れた状態でスイッチを切り替えてください。
受信機の電源が入っていない状態でスイッチを切り替えてもモードの切り替えは行われません。
- モードの切り替えを行っても送信機とのペアリングを行わなければ、元のモードでのペアリングが保持されています。
- 6G モードでは映像 / 音声の乱れや途切れがなく使用できる範囲が 5G モードに比べて狭くなります。
- 特に 6G モードの使用時には、送信機と受信機の間に遮蔽物があると伝送能力が落ちることがあります。6G モードを使用する場合は、受信機のアンテナが送信機から見えるように設置してください。

以下の場合には特に気を付けてください。

- ディスプレイの裏などに設置するとき
- 天井から吊り下げて設置したプロジェクターのそばに設置するとき
- ラックの中に設置するとき

映像の切り換えを固定する（固定モード）

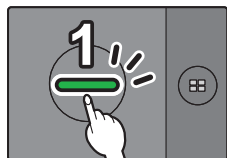
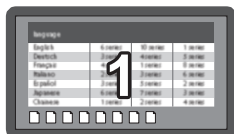
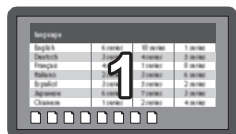
複数の送信機をペアリングして使用している状態で、1 台の送信機の映像を表示しているときに、他の送信機からの映像に切り換えられないように設定できます。

この設定により、映像切り換えの誤操作を防ぐことができます。

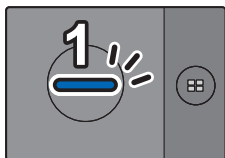
固定モードの設定

1 台の送信機の映像を表示している状態で送信機のメインボタンを 1 秒以上押す。

メイン LED は緑色点灯→青色点灯に変わり、固定モードに入ります。

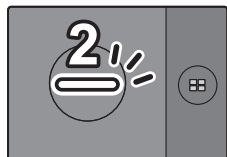


緑色点灯

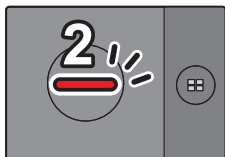


青色点灯（固定モード）

その他の送信機



白色点灯（待機中）

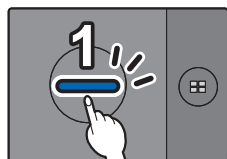


赤色点灯（操作不可）

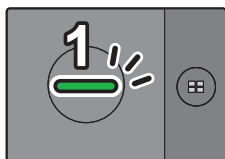
固定モードの解除

送信機のメインボタンを 1 秒以上押す。

メイン LED は青色点灯→緑色点灯に変わり、固定モードは解除されます。



青色点灯（固定モード）



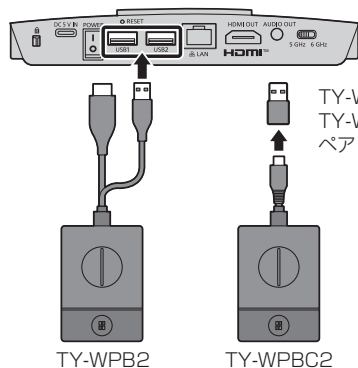
緑色点灯（固定モード解除）

送信機の増設方法（ペアリング）

TY-WPS2 基本セット / TY-WPSC2 基本セットはそれぞれペアリング設定済みです。

受信機と送信機を接続してペアリングする

1 送信機の USB 端子を受信機 / 受信ボードの USB 端子に接続する。



TY-WPBC2 の接続には、
TY-WPSC2/TY-WPBC2 に付属する
ペアリング用変換アダプターが必要です。

しばらく待つと受信機の LED が白色に点滅し、自動的にペアリングが開始されます。
待機画面に「Pairing...」（ペアリング中）と表示されます。

2 ペアリング完了

「Pairing OK」と表示され、受信機の LED が白色に点灯します。



3 送信機の USB ケーブルを受信機から外す。

無線 LAN 経由で遠隔から受信機と送信機をペアリングする

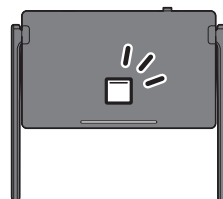
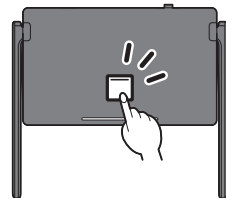
1 受信機の FUNCTION ボタンを 5 秒以上押す。

または

Web 設定画面から、「ペアリング設定」を押す。

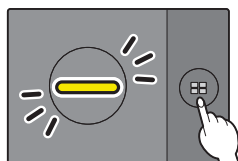
FUNCTION ボタンの LED が白色に点灯します。

「ペアリング設定」の案内画面が表示されます。画面の指示従っても遠隔ペアリングができます。FUNCTION ボタンの LED が白色に点灯します。

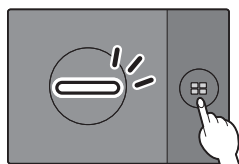
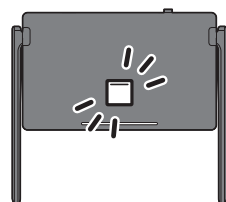


2 ペアリングしたい送信機をパソコンと接続し、15 秒～ 20 秒ほど待ってから、サブボタンを 5 回連続で押す。

メインボタンの LED が黄色に点滅します。



しばらく待つと、受信機の FUNCTION ボタンの LED が白色に点滅し、送信機のメインボタンの LED が白色に点灯します。



受信機の画面に「Pairing OK」と表示され、受信機の FUNCTION ボタンの LED が白色に点灯します。

3 送信機をパソコンから外す。

お知らせ

- 受信機が遠隔ペアリングを実施しているときは、他の無線 LAN デバイスへの接続は動作しません。
- Web 設定画面からペアリングを行う場合、有線 LAN ケーブルもしくは「DIRECT-****」の SSID からアクセスすることを推奨します。「PressIT_****」の SSID でアクセスした状態でペアリング設定を開始すると、一時的に SSID 接続が解除されます。
- WPS1 は無線 LAN 経由で遠隔から受信機と送信機をペアリングすることはできません。

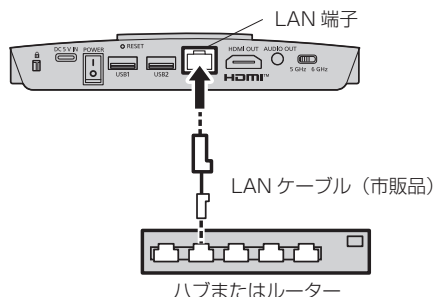
LAN 接続について

本機はネットワーク機能を備えており、有線または無線でネットワークに接続することで、遠隔で本機を管理することができます。

お知らせ

- 本製品は電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダー等）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルーター等を経由し接続してください。

■有線 LAN 接続



受信機の LAN 端子をネットワークに接続すると、受信機の IP アドレスは、初期設定では固定の IP アドレス値が割り振られています。割り当てられた IP アドレスは、待機画面に表示されています (P. 24 ページ⑥)。受信機 (TY-WPR2) の管理を行う場合には、この IP アドレスを使用して接続してください。

お知らせ

- LAN ケーブルにはシールドケーブルをご使用ください。シールドケーブルをご使用にならない場合、映像にノイズが発生することがあります。
- 静電気を帯びた手（体）で LAN 端子に触れると静電気の放電により故障の原因になります。LAN 端子および LAN ケーブルの金属部に触れないようにしてください。

■無線 LAN 接続

受信機 (TY-WPR2) の無線機能を用いて外部無線アクセスポイントやモバイル無線 LAN ルーター (5GHz または 6GHz の無線 LAN のみ) へ接続し、外部のネットワークまたはインターネットに接続することができます。

Web 設定画面の「ネットワーク管理」で接続設定をしてください。(P. 30 ページ)

お知らせ

- 本機の無線 LAN 接続機能を使って、ネットワークに接続して映像を表示（ミラーリング）した場合、映像が固まったりノイズが発生する可能性が高まります。外部の無線 LAN への接続はファームウェアの更新を実施する場合などに限ることを推奨します。

Android 端末での使用方法（Android 5.0 以降）

Android 端末（Android 5.0 以降に対応）の映像をディスプレイやプロジェクターにミラーリング（投映）するには次の 2 通りの方法があります。無線 LAN やセキュリティなどご利用環境に合わせて使い分けることができます。

- 1 Android 端末でアプリを使用し、受信機が発信する無線 LAN に接続して使用する
- 2 Android 端末でアプリを使用し、外部の無線 LAN に接続して使用する

1 Android 端末でアプリを使用し、受信機が発信する無線 LAN に接続して使用する

こちらの方法でミラーリングする場合、Android 機器はインターネットに接続できなくなります。端末をインターネットに接続した状態でミラーリングする場合は **2** の方法でご使用ください。

- 1 受信機と表示機器を HDMI ケーブルで接続し、受信機の電源を入れる。（[14 ページ](#)）
待機画面が表示されます。「待機画面について」（[24 ページ](#)）
- 2 Google Play ストアから専用アプリ「PressIT」を Android 端末にインストールする。
下の QR コードをスキャンしてインストールすることもできます。



3 Android 端末を、受信機が発信している無線 LAN に接続する。

無線 LAN 接続に必要な SSID およびパスワードは、待機画面の左下に表示されています。Android 端末の無線 LAN 機能をオンにして、待機画面に表示された SSID を選択してください。
*Android 端末の設定方法については、ご使用の端末の取扱説明書をご覧ください。

4 「PressIT」アプリを起動する。

送信機と同じデザインの画像が Android 端末に表示されます。画面上の送信機のメインボタンをタップしてください。（Android OS が通知を出す場合がありますので、その通知に従って操作してください。）

5 ミラーリングが開始されます。

2 Android 端末でアプリを使用し、外部の無線 LAN に接続して使用する

お知らせ

- ・専用アプリを起動する前に、受信機と Android 機器が同じ無線 LAN に接続されていることを確認してください。（[28 ページ](#)）
- 1 受信機と表示機器を HDMI ケーブルで接続し、受信機の電源を入れる。（[14 ページ](#)）
待機画面が表示されます。待機画面について（[24 ページ](#)）
 - 2 Google Play ストアから専用アプリ「PressIT」を Android 端末にインストールする。
下の QR コードをスキャンしてインストールすることもできます。

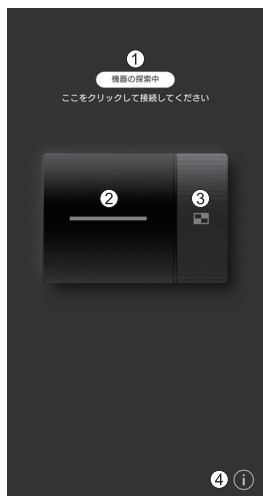


3 「PressIT」アプリを起動する。

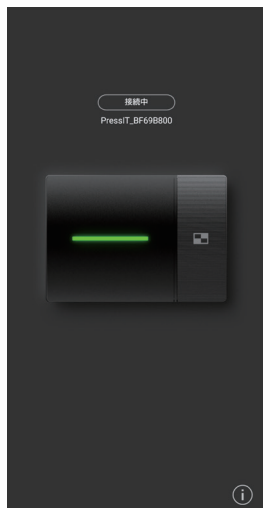
送信機と同じデザインの画像が Android 端末に表示されます。画面上の送信機のメインボタンをタップしてください。（Android OS が通知を出す場合がありますので、その通知に従って操作してください。）

4 ミラーリングが開始されます。

■「PressIT」アプリについて



- ① 「機器の探索中」をクリックすると接続されているネットワーク上の受信機のリスト（設定されている SSID）が表示されます。表示したい機器に接続してください。
- ② 送信機のメインボタンと同じ動作をします。
- ③ 送信機のサブボタンと同じ動作をします。
- ④ Android アプリの情報を表示します。



左図は、接続した状態です。この場合は映像を表示しています。アプリを終了せずにホーム画面に戻ったり、他のアプリを操作したりするとその映像がミラーリング（投映）されます。

お知らせ

- 著作権が保護されているコンテンツは表示できません。
- Android 端末の処理能力やネットワークの状況により、動画が滑らかに表示されない場合があります。
- 受信機を複数接続しているネットワーク上で接続する場合は表示する機器が複数になりますので、必ず表示する機器を間違えないようにしてください。

設定

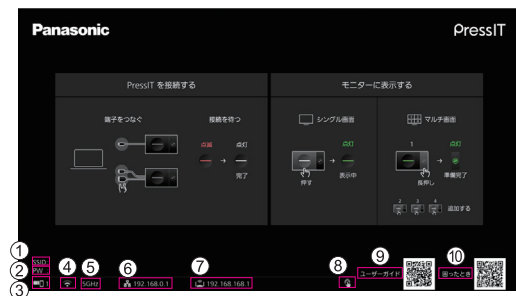
受信機の Web ページに接続して本システムの設定を行います。

待機画面について

受信機の電源を入れる则表示機器に待機画面が表示されます。

お知らせ

- 受信機と表示機器の接続については「受信機の接続」(P. 14 ページ)をご覧ください。



- ① SSID を表示します。パソコンやモバイル機器から直接接続する場合に使用します。
- ② パスワードを表示します。パソコンやモバイル機器から直接接続する場合に使用します。
- ③ 送信機または受信機の無線 LAN 経由で接続しているモバイル機器、または外部無線 LAN 経由で接続しているモバイル機器との接続数を表示します。
- ④ 無線アクセスポイント/ルーターに接続した場合に表示します。
- ⑤ 受信機と送信機の接続に使用する周波数を表示します。(5GHz もしくは 6GHz)
- ⑥ 有線 LAN または外部の無線 LAN アクセスポイントを経由して外部ネットワーク (LAN) に接続した場合に表示します。外部ネットワークから受信機に接続するときに、この IP アドレスを使用してください。
- ⑦ 無線 LAN の受信機 IP アドレスです。無線 LAN 接続時にはこの IP アドレスを使用してください。
- ⑧ 受信機の USB 端子にマウスまたはディスプレイのタッチモジュールを接続した場合に表示します。
- ⑨ 取扱説明書ダウンロードサイトへのリンク QR コードを表示します。
- ⑩ サポート / FAQ サイトへのリンク QR コードを表示します。

お知らせ

- 「デバイスの管理」- 「言語」で表示される言語を変更できます。(P. 31 ページ)
- 「Wireless Display」機能が「ON」のとき、本機は SSID を 2 つ使用します。また、「Wireless Display」機能が「ON」のとき、待機画面には Wireless Display 用の「SSID (DIRECT-****)」が表示されます。

■ 購入直後初めて接続する場合

Web 設定画面に接続する場合、有線 LAN ケーブル経由で接続する方法と、無線 LAN 経由で接続する方法があります。

お知らせ

- Web 設定画面で一部の設定を変更する際に、受信機の再起動が必要となります。無線 LAN 経由で Web 設定画面に接続している場合、再起動のタイミングで PC/ モバイル端末との無線 LAN 接続が切れてしまい、Web 接続が切断される場合があります。そのため有線 LAN ケーブル経由での接続を推奨します。

● 有線 LAN ケーブル経由で接続する場合（推奨）

- ① PC と WPS2 受信機を LAN ケーブルで接続する
- ② PC のローカルネットワーク（イーサネット）の設定を、192.168.0.** に設定する
- ③ PC でブラウザを立ち上げ、192.168.0.8 を入力する
- ④ Web 設定画面へ入ります。

- 本機の設定が工場出荷の状態であれば、コンピューター側のネットワーク設定を次のようにすると、そのままお使いになれます。

[IP アドレス]	192.168.0.10
[サブネットマスク]	255.255.255.0
[デフォルトゲートウェイ]	192.168.0.1

● 無線 LAN 経由で接続する場合

- ① PC/ モバイル端末から、WPS2 の待機画面に記載されている SSID にアクセスする
- ② PC/ モバイル端末でブラウザを立ち上げ、192.168.0.8 を入力する
- ③ Web 設定画面へ入ります。

お知らせ

- 「Wireless Display」機能が「ON」のとき、本機は SSID を 2 つ使用します。
また、「Wireless Display」機能が「ON」のとき、待機画面には Wireless Display 用の“SSID (DIRECT-****)”が表示されます。
Web 設定画面へアクセスする場合は、どちらの SSID からでもアクセスすることができます。
- 無線 LAN 経由で Web 設定画面へアクセスしている場合、受信機が再起動すると PC との接続が切れます。PC との接続が切れてしまった場合は、再度 PC から SSID を選択しアクセスすることで再度 Web 設定画面へアクセスできます。
- ワイヤレスモードを 6 GHz で使用する場合、PC/ モバイル端末が 6 GHz の無線接続に対応した機器でないと SSID が検索できません。
- 6GHz に対応していない PC/ モバイル端末を使用する場合は、Wireless Display 用の“SSID (DIRECT-****)”を使用してアクセスしてください。
- 6GHz に対応していない PC/ モバイル端末を使用した状態で、Wireless Display をオフにすると、無線 LAN にアクセスできなくなります。
無線 LAN で SSID にアクセスできなくなった場合は、ワイヤレスモードを 5GHz に切り替えて 5GHz の SSID にアクセスするか、受信機のリセットボタンを長押しして工場出荷状態に戻してください。
- マルチキャストを設定する場合、設定の途中で Wireless Display 用の“SSID (DIRECT-****)”は無効になるため、マルチキャストを設定したい場合は、Wireless Display 用の“SSID (DIRECT-****)”以外の方法でアクセスして設定を行ってください。

● Web 設定画面へログインする

購入直後または受信機のリセットボタンを押して初期化後に、受信機の Web ページに接続した場合には、ユーザー ID とパスワードの設定が必要です。

お知らせ

- パスワードは、半角 8 文字以上で、次の 4 種類の文字のうち少なくとも 3 種類を含むもので設定してください。
大文字 (A-Z)
小文字 (a-z)
数字 (0-9)
記号 (!@#\$%^&*()_+{}|[]<>.,/?)
- 設定されたユーザー ID とパスワードの入力を複数回間違えると、Web アクセスページにロックがかかります。ロックがかかってしまった場合は、指定の時間待ったあとに、再度ユーザー ID とパスワードを入力してください。

Web 設定画面を表示する

■ ウェブブラウザについて

Web 設定画面は、以下のウェブブラウザで操作することを推奨します。

Chrome Ver.120.0.6099.129 以降
Edge Ver.120.0.2210.91 以降

Firefox Ver.121.0.0 以降
Safari Ver.17.2.1 以降

■ 周囲に無線アクセスポイントがない環境で設定する場合

受信機の無線 LAN に接続し、Web 設定画面を開きます。こちらの方法でウェブ設定を操作している間、モバイル機器は一時的にインターネットに接続できなくなりますのでご注意ください。無線 LAN 接続に必要な SSID およびパスワードは、待機画面の左下に表示されています。

SSID:PressIT-A132F34D

PW:1234567890ABCDE

1 パソコンやモバイル機器の無線 LAN をオンにして、待機画面に表示されている SSID を選択する。

上記例：PressIT-A132F34D

2 無線 LAN のパスワードを入力する。

上記例：1234567890ABCDE

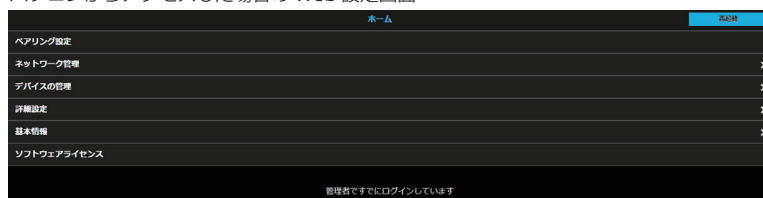
3 接続が完了したら、待機画面右下に表示された IP アドレスを、ウェブブラウザのアドレスバーに入力して Enter を押す。



*画像の IP アドレスは一例であり、環境によって異なる場合があります。

正常に接続されると、Web 設定画面が表示されます。

パソコンからアクセスした場合の Web 設定画面



スマートフォンからアクセスした場合の Web 設定画面



■ 無線 LAN アクセスポイントを自由に使える環境で設定する場合

受信機を外部の無線 LAN に接続し、Web 設定画面を開きます。受信機が発信する無線アクセスポイントとは異なる外部の無線アクセスポイントに接続し、Web 設定画面を開くことも可能です。この方法の場合、モバイル機器をネットワークに接続したまま、Web 設定画面にログインできるという利点があります。ただし、外部の無線アクセスポイントのパスワードを事前に把握していることが前提となります。パスワード等はローカルネットワークを管理しているシステム管理者にお問い合わせください。

1 「周囲に無線アクセスポイントがない環境で設定する場合」(27 ページ) の手順で Web 設定画面を開いたあと、ログインし、「ネットワーク管理」を選択する。



2 「SSID をスキャンして接続する」をクリックする。



*受信機にネットワークケーブルが接続されている場合は有線 LAN の接続が優先されます。

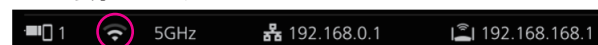
3 接続したい SSID を選択し、パスワードを入力する。



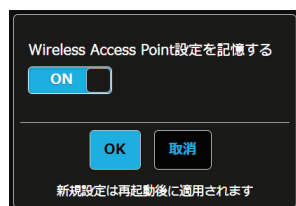
外部の無線アクセスポイント経由でインターネットに接続された状態



また、受信機が外部の無線アクセスポイントに接続されると、待機画面の左下に無線 LAN のアイコンが表示されます。



受信機に外部の無線アクセスポイントを記憶させたい場合は、「Wireless Access Point 設定を記憶する」を「ON」にして「OK」をクリックしてください。

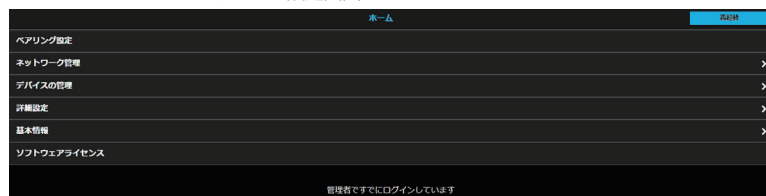


- 4 パソコンやモバイル機器から Web 設定画面を開くには、受信機と同じ無線アクセスポイントに接続されていることを確認し、下部に表示されている IP アドレスをウェブブラウザのアドレスバーに入力して Enter を押す。



正常に接続されると、Web 設定画面が表示されます。

パソコンからアクセスした Web 設定画面



Web 設定画面から各種設定を行う

Web 設定画面から「デバイスの管理」、「ネットワーク管理」、「詳細設定」等を含む設定変更ができます。



お知らせ

- 一部の設定項目は、設定変更後に受信機を再起動することで設定が反映されます。
設定したい項目をすべて変更した後、Web 設定画面右上の「再起動」ボタンを押して、受信機を再起動してください。

ペアリング設定

受信機のペアリングモードを起動します。

「無線 LAN 経由で遠隔から受信機と送信機をペアリングする」(P. 20 ページ)

ネットワーク管理

外部の無線アクセスポイント経由で受信機を外部の無線 LAN に接続することができます。

お知らせ

- 有線 LAN との併用はできません。

SSID をスキャンして接続する



本製品は 5 GHz/6 GHz 帯域を使用している無線アクセスポイントにのみ対応しています。
モバイル機器と受信機を同一の無線アクセスポイントに接続するため、必要な SSID とワイヤレスパスワードを入力します。

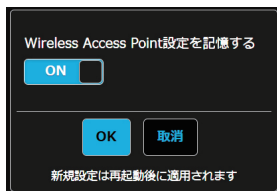
Wireless Access Point 設定を記憶する



一度接続した無線アクセスポイントのパスワードの接続情報を受信機に記憶させることができます。

ON：受信機に外部無線アクセスポイントの設定を記憶します。

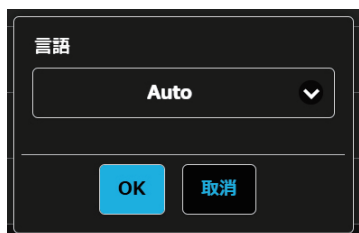
OFF：受信機に記憶された外部無線アクセスポイントの設定を削除します。



■ デバイスの管理

Web 設定画面には、言語、解像度といった設定オプションがあります。

● 言語



日本語および英語に対応しています。Web 設定画面や待機画面は選択した言語で表示されます。

（お知らせ）

- 言語の設定を「Auto」に設定している場合、Web 設定画面にアクセスしたパソコンの言語設定に合わせて Web 制御画面および受信機の待機画面の言語が変更されます。
パソコンの言語設定が日本語の場合：日本語
パソコンの言語設定が日本語以外の場合：英語
- パナソニック製の一部のディスプレイと本機を接続した場合、「言語連動」機能により本機の言語設定が変更されます。
詳細はディスプレイの取扱説明書をご確認ください。
(パナソニック製ディスプレイで「言語連動」の機能を持った製品が対象となります)
ディスプレイの言語設定が日本語の場合：日本語
ディスプレイの言語設定が日本語以外の場合：英語
連携機能は、ディスプレイの「言語連動」が有効の場合に動作します。

● 解像度

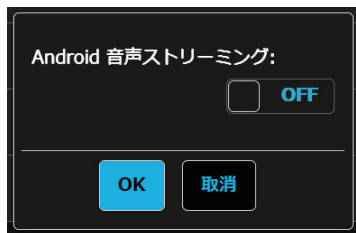


本製品はディスプレイにとって適切な出力解像度を自動的に検出しますが、手動で切り換えることもできます。標準の出力解像度は 3840 x 2160 (30fps) です。最大で 3860 x 2160 (30fps) または 4096 x 2160 (24fps) に対応しています。なお、一般に 4K と呼ばれるのは 3840 x 2160 (30fps) です。

（お知らせ）

- 本機能は設定を変更後、再起動することで設定が反映されます。
Web 設定画面上で必要な設定をすべて完了した後で、Web 設定画面の右上の「再起動」ボタンを押して、受信機を再起動してください。

●Android 音声ストリーミング

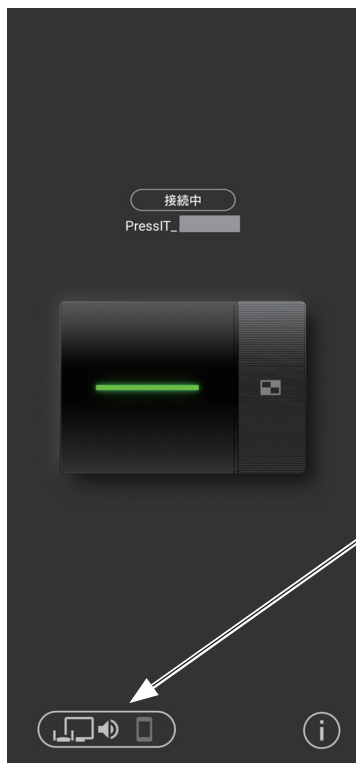


Android の音声を受信機に接続されている表示機器から出力する機能について指定します。

ON： 機能を有効にします。

OFF： 機能を無効にします。

「PressIT」アプリについて



「PressIT」専用の Android アプリで音声の出力状態を表示します。(アプリバージョン 0.0.14 以降)

Audio 出力状態表示を追加



Android 機器側で音声出力

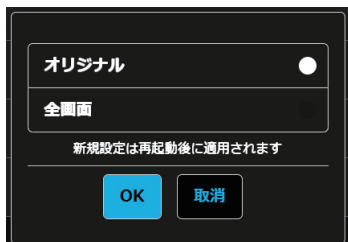


ディスプレイ / プロジェクター側で音声出力

お知らせ

- 本機能は Android 機器の Bluetooth を使用しますので、設定メニューで Bluetooth を有効にしてください。

●画面モード



映像のサイズを調整します。

オリジナル： 入力信号のアスペクト比のままの映像を表示します。

全画面： 映像を画面いっぱいに表示します。

●再起動指定

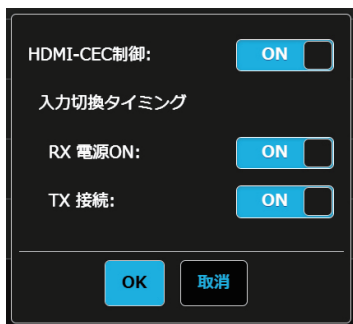


無操作時、メニューで選択した時間後に再起動を行います。

（お知らせ）

- 本機能は設定を変更後、再起動することで設定が反映されます。
Web 設定画面上で必要な設定をすべて完了した後で、Web 設定画面の右上の「再起動」ボタンを押して、受信機を再起動してください。

●HDMI-CEC 制御



ディスプレイまたはプロジェクターとのリンク機能を設定します。

入力切替タイミング

RX 電源 ON:

受信機の電源を入れると電源 ON や入力切替を行う機能について設定します。

ON： 機能を有効にします。

OFF： 機能を無効にします。

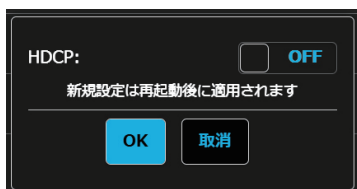
TX 接続:

送信機の電源を入れると電源 ON や入力切替を行う機能について設定します。

ON： 機能を有効にします。

OFF： 機能を無効にします。

●HDCP



本機の HDCP 対応を切り換えます。HDCP 付信号を入力する場合は「ON」にしてください。

（お知らせ）

- 本機能は設定を変更後、再起動することで設定が反映されます。
Web 設定画面上で必要な設定をすべて完了した後で、Web 設定画面の右上の「再起動」ボタンを押して、受信機を再起動してください。

■ 詳細設定

この設定機能は主に情報システム部門の担当者、ネットワーク管理者向けに設計されており、より詳細な設定変更を行うことができます。

● Wireless チャンネル

Wireless チャンネルを設定します。本製品には以下のオプションがあります。

- 5G/6G:** 5G/6G を変更します。
- チャンネル:** Wireless チャンネルの設定を変更します。
受信機の起動時にチャンネルを自動で選択する「Auto」、もしくは、手動でチャンネルを選択できます。
チャンネルは、「1, 5, 9, 13, 17, 21, 25, 29, 33, 37, 41, 45, 49, 53, 57, 61, 65, 69, 73, 77, 81, 85, 89, 93」の 24 チャンネルから選択できます。
- 帯域幅:** 無線 LAN 信号の帯域幅を設定します。
帯域幅は、「20MHz, 40MHz, 80MHz」から選択できます。

お知らせ

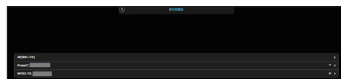
- チャンネルを「Auto」に設定している場合、設定されるチャンネルは「5, 21, 37, 53, 69, 85」の 6 チャンネルから自動で選択されます。複数台の受信機を同時に使用する場合、電波の干渉を懸念される場合は、チャンネルを「Auto」ではなく、それぞれの受信機が個別のチャンネルとなるように設定してください。
- 現在、受信機がどのチャンネルで動作しているかを確認したい場合、受信機の FUNCTION ボタンを押すと表示される「Wireless Channel」の欄で確認できます。
- 受信機が外部の無線アクセスポイントに接続されているときは、Wireless チャンネルの設定ができませんのでご注意ください。
- 本機能は設定を変更後、再起動することで設定が反映されます。

● 信号の強さ

強度を設定します。

複数台の送信機・受信機が近接して設置されている場合などに発生する電波の干渉を抑える場合に設定します。

① 「詳細設定」画面で「信号の強さ」を選択する。

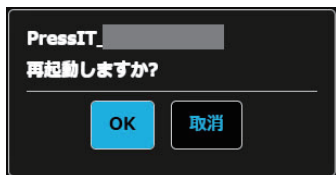


受信機と接続中の送信機一覧が表示されます。
設定を行う機器を選択します。
受信機とすべての送信機を同じ設定に変更する場合は、「All(RX+TX)」を選択してください。

② 強度を設定する。

高: 無線の強度を最大に設定する場合に選択してください。
中: 強度を 70% に設定します。
低: 強度を 40% に設定します。

③ 再起動を設定する。



設定変更の後に変更対象の機器を再起動するかどうかを設定します。
連続して複数の機器の設定を変更する場合は、「取消」を選択してください。

お知らせ

- 再起動の対象は、直前に設定を変更した機器だけです
- 「取消」を選択して複数の機器の設定を変更した場合は、手で電源を入れ直してください。

● LAN IP 設定

IP アドレス、ゲートウェイ、ネットマスク、DNS サーバーなどを含むネットワークの手動設定ができます。
購入直後または受信機のリセットボタンを押して初期化後は、下記の設定となっています。

自動： OFF
IP アドレス： 192.168.0.8
ゲートウェイ： 192.168.0.1
ネットマスク： 255.255.255.0
DNS1： 192.168.0.1
DNS2： (空欄)

● SSID

SSID 名の変更、SSID の非表示、SSID の無効化ができます。

SSID を隠す：

「ON」にすることで待機画面に表示される SSID を非表示にします。

* 設定前に必ずメモをとっておいてください。

SSID をオフにする：

「ON」にすることで受信機の SSID 機能を無効にします。

送信機と受信機で通信ができなくなります。ペアリングを行っても通信できません。

お知らせ

- 「Wireless Display」機能が「ON」のとき、本機は SSID を 2 つ使用します。
- 受信機と送信機の無線接続に使用される SSID 名称は、本機で設定される名称になります。
- 「Wireless Display」機能に使用される SSID の名称は、本機の SSID の名称の頭に「DIRECT-」が付いた「DIRECT-**** (SSID 名)」という名称になります。
- SSID を変更する場合、再起動することで設定が反映されます。

●ワイヤレスパスワード

受信機の無線 LAN 接続パスワードを変更します。管理者はセキュリティ強化のために、待機画面で無線 LAN パスワードを非表示にすることができます。

設定できる文字種： 英数記号文字 (0～9、a～z、A～Z、`!@#\$%^&*()_+{|}[]<>.,/?')

設定できる文字数： 8～15 文字

お知らせ

- パスワードを変更すると再度ペアリングを行う必要があります。

●マイスクリーン

任意の画像をアップロードすることで、待機画面の背景を変更することができます。画像の大きさは 1920 x 1080 の PNG 形式で、2MB 以下である必要があります。

お知らせ

- 一度背景を変更すると、元の画像に戻すには製品を初期化する必要がありますのでご注意ください。
([43 ページ「デフォルトにリセット」](#))

●Wireless Display

Wireless Display 機能を使用して、Miracast 対応のモバイル端末の画面および音声を受信機にミラーリングできます。

Wireless Display

ON： 機能を有効にします。

OFF： 機能を無効にします。

「Wireless Display」が「ON」の時は、「DIRECT-****」（現在の SSID）」というもうひとつの無線ネットワークが動作します。

PIN

ON： 機能を有効にします。

OFF： 機能を無効にします。

お知らせ

- 「Wireless Display」機能が「ON」のとき、本機は SSID を 2 つ使用します。
- 「Wireless Display」機能に使用される SSID の名称は、受信機と送信機の無線接続に使用される SSID の名称の頭に「DIRECT-」が付いた「DIRECT-****(SSID 名)」という名称になります。
- 本機能は設定を変更後、再起動することで設定が反映されます。Web 設定画面上で必要な設定をすべて完了した後で、Web 設定画面の右上の「再起動」ボタンを押して、受信機を再起動してください。

PIN 機能

本機能を有効にした場合、使用するモバイル端末によっては、接続時に PIN の入力を求められることがあります。その場合は、画面の下部に表示されている数字 8 桁の PIN を入力してください。

「Wireless Display」が「ON」の場合の待機画面



① モバイル端末から、ここに記載の SSID を選択してください。

② PIN 表示

お知らせ

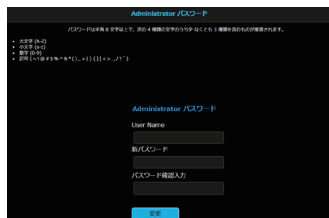
- Wireless Display 機能は、モバイル端末が Miracast をサポートしている場合にのみ使用できます。接続で問題が発生した場合は、使用しているオペレーティングシステムが Miracast をサポートしているかどうかを確認してください。
モバイル端末の操作方法については、お使いの端末の取扱説明書などをご覧ください。
- 「マルチキャスト」が「ON」の場合は Wireless Display 機能が使用できないため、「Wireless Display」を「ON」にできません。
- 送信機による固定モード中は Wireless Display 機能は実行できません。
- 「Wireless Display」が「ON」の場合、次のメニューは変更不可になります。
 - SSID を隠す /SSID をオフにする
設定は強制的に「OFF」になります。
 - パスワード

● Administrator パスワード

管理者のパスワードを変更できます。セキュリティを強化するために、管理者パスワードは定期的に変更することをお勧めします。

設定できる文字種：英数記号文字 (0～9、a～z、A～Z、`!@#\$%^&*()_+|=|<>.//?')

設定できる文字数：8～16文字



●スクリーンセーバー

スクリーンセーバーとは、待機画面が表示されたら指定時間後に信号出力を停止する機能です。ここでその指定時間を設定できます。

接続された送信機のメインボタンを押して映像提示動作をすると、信号出力の停止は解除されます。

お知らせ

- 本機能による信号出力停止中は、受信機に接続している HDMI ケーブルの抜き差しをしても停止を解除できません。



●WPA/WPA2-Enterprise

この機能を使用すると、暗号化通信に対応した電子証明書鍵ファイルをアップロードすることができます。この機能は情報システム部門の担当者、ネットワーク管理者向けに設計されています。



お知らせ

- WPA3-Enterprise は非対応となります。

● マルチキャスト

1 台の送信機から複数の受信機に映像および音声をミラーリングする機能です。

マルチキャスト機能を使用するには、2 種類の設定方法があります。

① ルーターを使用しない方法（ルーターレスマルチキャスト）

② ルーターを使用する方法

5 GHz 帯域 W52 チャンネルに固定できる無線 LAN ルーター、もしくは 6 GHz 帯域に対応した無線 LAN ルーターが必要です。



マルチキャスト

ON： 機能を有効にします。

OFF： 機能を無効にします。

RX HOST

ON： 受信機の Host となります

OFF： 機能を無効にします。

キャストグループ

キャストグループ名を設定します（英数字 16 文字以内）。

同じキャストグループに設定した受信機に対し、マルチキャストが可能です。

セキュリティ

WPA, WPA2/WPA3, WPA3, OPEN

ルーターもしくは Host 受信機のセキュリティ設定を選択します。

マルチキャスト機能に対応しているものが表示されています。

マルチキャストは WPA/WPA2-Enterprise に対応していません。

デバイス名

ルーターもしくは Host 受信機の SSID を入力します。

ワイヤレスパスワード

ルーターもしくは Host 受信機のパスワードを入力します。

① ルーターレスマルチキャストの設定方法（一例）

マルチキャストで使用するすべての受信機で設定が必要です。

下記の設定方法（一例）をすべての受信機で実施してください。

1-1 受信機の設定

1-1-1 Web 設定画面に接続する

PC/ モバイル端末を受信機接続し、Web 設定画面へアクセスする。

Web 設定画面へのアクセス方法は「購入直後初めて接続する場合」（[125](#) ページ）をご参考ください。

1-1-2 Web 設定メニューの「詳細設定」から「Wireless Display」を選択し、Wireless Display を「OFF」に設定し「OK」を押してください。

1-1-3 HOST 受信機の設定

マルチキャストで使用する受信機の 1 台を HOST 受信機として設定します。

Web 設定メニューの「詳細設定」から「マルチキャスト」を選択し、下記を参考にマルチキャストの設定を行ってください。

マルチキャスト

ON

キャストグループ

全ての受信機で同じキャストグループ名を設定してください。（例：G001）

セキュリティ

ワイヤレスモードが 5GHz の場合「WPA2/WPA3」を選択してください。
ワイヤレスモードが 6GHz の場合「WPA3」を選択してください。

デバイス名 空欄にしてください。
ワイヤレスパスワード 空欄にしてください。

設定を完了後、「RX HOST」を「ON」に設定してください。
その後、「OK」を選択してください。

全ての設定が完了したら、Web 設定画面右上の「再起動」を押して、受信機を再起動してください。
PC と受信機を有線 LAN 経由で接続している場合、再起動後に受信機の LAN ケーブルを抜いてください。

1-1-4 HOST 以外の受信機の設定

Web 設定メニューの「詳細設定」から「マルチキャスト」を選択し、下記を参考にマルチキャストの設定を行ってください。

マルチキャスト	ON
RX HOST	OFF
キャストグループ	全ての受信機で同じキャストグループ名を設定してください。(例：G001)
セキュリティ	ワイヤレスモードが 5GHz の場合「WPA2/WPA3」を選択してください。 6GHz の場合「WPS3」を選択してください。
デバイス名	HOST の受信機の待機画面を確認し、HOST 受信機の SSID(PressIT_*****)を入力してください。
ワイヤレスパスワード	HOST の受信機の待機画面を確認し、HOST 受信機のワイヤレスパスワードを入力してください。

設定が完了したら、「OK」を選択してください。

全ての設定が完了したら、Web 設定画面右上の「再起動」を押して、受信機を再起動してください。
PC と受信機を有線 LAN 経由で接続している場合、再起動後に受信機の LAN ケーブルを抜いてください。

1-2 ペアリング


HOST 受信機と送信機をペアリングしてください。

ペアリングは、「受信機と送信機を接続してペアリングする」方法 (☞ 19 ページ) でペアリングしてください。

遠隔ペアリングは非対応となります。

1-3 接続の確認

HOST 受信機の無線ネットワークアイコン欄  の IP アドレスが、「192.168.167.1」となっていれば、HOST 受信機の設定は完了です。

HOST 受信機以外の待機画面のネットワークアイコン欄  の IP アドレスが

「192.167.167.***」と表示されていれば、HOST 以外の受信機の設定も完了です。

送信機のメインボタンを押して、全ての受信機で映像が表示されることを確認してください。

② ルーターを使用したマルチキャストの設定方法 (一例)

マルチキャストで使用するすべての受信機で設定が必要です。

下記の設定方法 (一例) をすべての受信機で実施してください。

2-1 受信機をルーターと接続する

2-1-1 無線 LAN 経由で受信機をルーターと接続する

Web 設定メニューの「ネットワーク管理」で、「Wireless Access Point 設定を記憶する」を「ON」にし、「SSID をスキャンして接続する」でルーターとの接続設定をする。受信機とルーターを有線 LAN で接続する場合、この設定は不要です。

2-1-2 有線 LAN 経由で受信機とルーターを接続する

Web 設定メニューの「詳細設定」で、「LAN IP 設定」を選択し、接続したいルーターと同一のネットワーク上に IP アドレスを設定してください。
同一ネットワークで複数の受信機を使用したい場合、それぞれの受信機で IP アドレスを任意の値に設定してください。

2-2 受信機の設定

2-2-1 Web 設定画面に接続する

PC/ モバイル端末を受信機接続し、Web 設定画面へアクセスする。

Web 設定画面へのアクセス方法は「購入直後初めて接続する場合」(P. 25 ページ)をご確認ください。

2-2-2 Web 設定メニューの「詳細設定」から「Wireless Display」を選択し、Wireless Display を「OFF」に設定し「OK」を押してください。

2-2-3 Web 設定メニューの「詳細設定」から「マルチキャスト」を選択し、下記を参考にマルチキャストの設定を行う。

マルチキャスト	ON
RX HOST	OFF
キャストグループ	全ての受信機で同じキャストグループ名を設定してください。(例：G001)
セキュリティ	ルーターが設定しているセキュリティ設定を選択してください。
デバイス名	ルーターの SSID を入力してください。
ワイヤレスパスワード	ルーターのワイヤレスパスワードを入力してください。

設定が完了したら、「OK」を選択してください。

2-2-4 全ての設定が完了したら、Web 設定画面右上の「再起動」を押して、受信機を再起動してください。

PC と受信機を有線 LAN 経由で接続している場合、再起動後に受信機の LAN ケーブルを抜いてください。

2-3 ペアリング

マルチキャストを設定した受信機と送信機をペアリングしてください。

ペアリングは、「受信機と送信機を接続してペアリングする」方法 (P. 19 ページ) でペアリングしてください。

遠隔ペアリングは非対応となります。

2-4 接続の確認

受信機の待機画面のネットワークアイコン欄  にルーターのネットワークに準じた IP アドレスが表示されていれば、接続完了です。

送信機のメインボタンを押して、全ての受信機で映像が表示されることを確認してください。

お知らせ

- 受信機を起動してから、マルチキャストの接続が完了するには、時間がかかる場合があります。
- マルチキャストを使用する場合、全ての受信機でワイヤレスモードは同じ設定にしてください。
- 手順の通りに受信機を設定してもマルチキャストが動作できない場合、受信機本体のリセットボタンを長押しして工場出荷時の状態に戻し、再度手順の最初から設定を行ってください。

●背景色設定

待機画面、無信号映像の背景色を指定します。
「黒色」または「青色」に指定できます。

お知らせ

- ・マイスクリーンを指定すると、本設定は待機画面に反映されません。



●日付 / 時間 設定



タイムゾーンを指定します。

Time Server :

NTP サーバーを設定します。
NTP サーバーを指定しない場合は、あらかじめ登録されているサーバーにアクセスします。

日時は、以下の情報を表示します。

1. 受信機の無線 LAN または有線 LAN 経由で NTP サーバーからの取得した情報（優先）
2. 対応ディスプレイまたはプロジェクターの HDMI-CEC からの情報

●HTTPS 設定



Web 設定画面へのアクセス方法について設定します。

HTTP :

http/https どちらの URL からでもアクセスできます。

HTTPS :

http でアクセスした場合、https へリダイレクトするようになります。
(http アクセスを無効にします)

お知らせ

- ・本機能を「HTTPS」設定にした場合、WPS1 送信機のペアリング機能が動作しません。
- ・本機能は設定を変更後、再起動することで設定が反映されます。Web 設定画面上で必要な設定をすべて完了した後で、Web 設定画面の右上の「再起動」ボタンを押して、受信機を再起動してください。

●再起動



ファームウェアを最新バージョンにアップグレードした時や、受信機が応答していない場合には、本製品を再起動します。
「再起動」をタップして「はい」を選択してください。

● デフォルトにリセット

本製品を出荷時の状態に初期化します。使用言語設定、解像度、一度記憶させた無線 LAN などのカスタム設定が初期化されますのでご注意ください。

送信機を初期化すると受信機と送信機のペアリングが解除されます。初期化後に「送信機の増設方法（ペアリング）」（[19 ページ](#)）の手順でペアリングを行ってください。

「デフォルトにリセット」で初期化しても、Administrator パスワード（ユーザー名 / パスワード）は初期化されません。Administrator パスワードを初期化したいときは、リセットボタン（[11 ページ](#)）を使用してください。

RX をリセットする：

受信機のみを初期化します。

TX をリセットする：

送信機のみを初期化します。

受信機とペアリング済みで、起動中の送信機が初期化の対象です。

RX + TX をリセットする：

受信機と送信機の両方を初期化します。

■ 基本情報

「SSID」、「ファームウェアバージョン」、「Wireless チャンネル」など、本製品に関する基本情報を表示します。送信機接続時には、送信機の基本情報も表示されます。

基本情報	
SSID : [REDACTED]	ファームウェアバージョン : [REDACTED]
IP : 192.168.168.1	インターネット IP : 192.168.0.8
MAC : [REDACTED]	LAN MAC : [REDACTED]
解像度 : 1920x1080_60P RGB	USB Device : N/A
5G Wirelessチャンネル	Connected Devices : 1
チャンネル : 44	BT Device :
帯域幅 : 20	Ethernet Port : In
Current time	Router :
	TX Version : 5100a003

SSID : [REDACTED]
ファームウェアバージョン : 51007000
IP : 192.168.168.152
MAC : [REDACTED]
Through : wlan1
[Source : None]
Casting : No

■ ソフトウェアライセンス

ソフトウェアライセンスの文章を記載したファイルをダウンロードします。

「初期設定」メニュー（ディスプレイ設定）

本製品を対応ディスプレイに接続して、ディスプレイの「初期設定」メニューを設定すると、以下の機能をご利用になれます。

ここではディスプレイ SQ1 シリーズでの各種設定を説明しています。その他の機種の設定についてはパナソニックの情報サイトをご覧ください。

■ 信号モード

「信号モード」サブメニュー画面（例）

HDMI 選択時

信号モード	
YUV/RGB 切換	YUV
デジタルシネマリリティー	オフ
ノイズリダクション	オート
MPEG ノイズリダクション	オフ
信号レンジ	フル (0-255)
フレームクリエーション	オフ
ダイナミックバックライト	オフ
EDID 選択	4K/60p
水平周波数	67.50 kHz
垂直周波数	30.00 Hz
ドットクロック周波数	297.00 MHz
信号フォーマット	3840x2160/30p
HDCP ステータス	保護

● EDID 選択

HDMI 端子の EDID のデータを切り換えます。

4K/60p/SDR： 4K 映像信号（最大 4 096 x 2 160 ドット、最大垂直走査周波数 60Hz）に対応した EDID にします。

SDR (Standard Dynamic Range) に対応した EDID です。HDR (High Dynamic Range) には対応していません。

4K/60p/HDR： 4K 映像信号（最大 4 096 x 2 160 ドット、最大垂直走査周波数 60Hz）に対応した EDID にします。

HDR (High Dynamic Range) に対応した EDID です。

4K/30p： 4K 映像信号（最大 4 096 x 2 160 ドット、最大垂直走査周波数 30Hz）に対応した EDID にします。

2K： 2K 映像信号（最大 1 920 x 1 200 ドット）に対応した EDID にします。

お知らせ

- 本機能はパナソニック製ディスプレイ SQ1 シリーズを例として説明しています。機種により設定する項目は異なります。
- 「4K/60p/SDR」または「4K/60p/HDR」に設定した場合、4K/30p の映像を出力します。
- 設定を変更すると、10 秒程度映像が消えた後に指定の映像フォーマットが出力されます。
- Web 設定画面の「解像度」を「自動」以外に設定している場合、本メニューの設定は反映されません。
- 「ワイヤレスプレゼンテーション連携」が「オフ」の場合、本メニューを変更した後に受信機を再起動するまで設定は反映されません。

● 入力信号表示（受信ボード入力選択時）

現在入力している信号の周波数と信号の種類を表示します。

水平周波数	33.72	kHz
垂直周波数	60.00	Hz
ドットクロック周波数	74.18	MHz
信号フォーマット	1080/60i	
HDCP ステータス	無し	

受信ボードの入力（SLOT）を選択している場合は、以下の情報を表示します。

- 送信機の映像を表示しているときは送信機に入力されている映像信号の情報が表示されます。
- 送信機の映像を表示していない場合（待機画面を表示中）は、受信ボードから出力している信号の情報が表示されます。

パナソニック製ディスプレイとの連携機能

本機に対応したパナソニック製ディスプレイと受信機を HDMI ケーブルで接続し、両方の電源をオンするだけで、連携した動作が可能です。（「ワイヤレスプレゼンテーション連携」を「オン」に設定する必要があります。）

次の各設定メニューで連携機能の詳細を設定します。

■ 起動設定

電源「入」時の各種設定を行います。

「起動設定」サブメニュー画面

起動設定	
スタート入力設定	オフ
電源復帰モード	ラストメモリー
スタート音量設定機能	オフ
スタート音量設定	0
起動遅延制御	オフ
お知らせ（無操作自動オフ）	オフ
お知らせ（パワーマネージメント）	オフ
クイック起動	オフ

● クイック起動

電源「入」時、素早く電源オンさせる機能です。

オフ：電源「入」時に通常通り電源オンします。

オン：電源「入」時に素早く電源オンします。

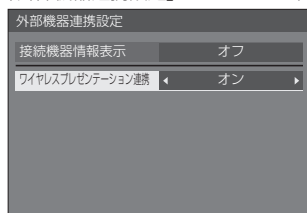
お知らせ

- 本設定が「オン」の場合、スタンバイ時の消費電力が高くなります。
- 本設定が「オン」のとき、スタンバイ状態では電源ランプは橙（赤 / 緑）色に点灯します。
- ディスプレイの USB 端子より受信機の給電を行う場合は、「オン」に設定してください。

■ 外部機器連携設定

外部接続機器との連携について設定します。

「外部機器連携設定」サブメニュー画面



● 接続機器情報表示

HDMI 端子に接続されている機器情報の表示 / 非表示を設定します。

オフ：接続機器情報が表示されません。

オン：以下のように、接続機器情報が表示されます。



（お知らせ）

- 信号の情報または HDMI-CEC の情報のうち取得できた内容を表示します。
- 取得できた先頭の 16 文字までを表示します。

● ワイヤレスプレゼンテーション連携

本製品とディスプレイとの連携について設定します。

オフ：本製品と連携しません。

オン：本製品と連携します。

（お知らせ）

- HDMI 端子に受信機が接続されている場合に連携機能が働きます。
- 以下の機能が固定されます。
本機能を「オン」から「オフ」に切り換えても、これらの設定は保持されます。また、各設定メニューで変更することは可能です。
 - 「映像メニュー」が「グラフィック」に固定されます。
 - 「HDMI-CEC 制御」が「有効」、「ディスプレイ → 機器」が「電源オフ / オン」、「機器 → ディスプレイ」が「電源オフ / オン」に固定されます。
 - 「クイック起動」が「オン」に固定されます。
- 「オフ」に設定した場合でも、HDMI-CEC 機能は動作します。

■ ワイヤレスプレゼンテーション設定

お知らせ

- メニューの設定が反映されるまでに5秒程度かかる場合があります。

「ワイヤレスプレゼンテーション設定」サブメニュー画面

ワイヤレスプレゼンテーション設定	
背景色設定	黒
日時表示設定	Y/M/D
言語連動	有効

● 背景色設定

黒： 待機画面、無信号映像の背景色を黒にします。

青： 待機画面、無信号映像の背景色を青にします。

お知らせ

- Web 設定画面の「マイスクリーン」機能で映像を変更した場合、本設定は反映されません。

● 日時表示設定

お知らせ

- 本モデルでは動作しません。待機画面に日時を表示しません。

● 言語連動

有効： 待機画面、無信号映像、Web 設定画面をディスプレイの「表示言語切換」で設定した言語にします。

無効： 待機画面、無信号映像、Web 設定画面を Web 設定画面の「言語」で設定した言語にします。

お知らせ

- 言語連動は、本モデルでは日本語と英語のみに対応します

■ HDMI-CEC 設定

HDMI-CEC 機能について設定します。

HDMI-CEC 機能について詳しくは「HDMI-CEC 機能を使う」(P. 49 ページ)をご覧ください。

「HDMI-CEC 設定」サブメニュー画面



● HDMI-CEC 制御

HDMI-CEC 機能の有効 / 無効を設定します。

無効： HDMI-CEC 制御を無効にします。

有効： HDMI-CEC 制御を有効にします。

お知らせ

- ・「有効」に設定することで、本機とディスプレイの HDMI-CEC 機能が有効になります。

● HDMI 1 / HDMI 2

本機が接続されている端子には「PressIT」と表示されます。

● MENU コード

本システムには割り当てるコードはありません。

● ディスプレイ → 機器

ディスプレイから HDMI-CEC 対応機器への連動制御の有効 / 無効を設定します。

無効： ディスプレイから機器への連動制御を無効にします。

ディスプレイの電源状態の変化で機器の電源状態は変化しません。

電源オフ： ディスプレイの電源オフ（スタンバイ）により、HDMI 1 または HDMI 2 端子に接続されているすべての機器を電源オフ（スタンバイ）にします。電源オン動作には連動しません。

電源オフ / オン： ディスプレイの電源オフ（スタンバイ） / オン動作に機器が連動してオフ（スタンバイ） / オンになります。

● 機器 → ディスプレイ

HDMI-CEC 対応機器からディスプレイへの連動制御の有効 / 無効を設定します。

無効： 機器からディスプレイへの連動制御を無効にします。

機器の電源状態の変化でディスプレイの電源状態は変化しません。

電源オン： 機器の電源オンでディスプレイの電源をオンし、その機器の入力（HDMI1 / HDMI2）に切り換えます。

電源オフ / オン： 機器の電源オフ / オンにディスプレイの電源が連動します。

HDMI-CEC 機能を使う

HDMI-CEC 機能は、本機の操作に連動してディスプレイの電源を切 / 入したり入力を切り換える機能です。

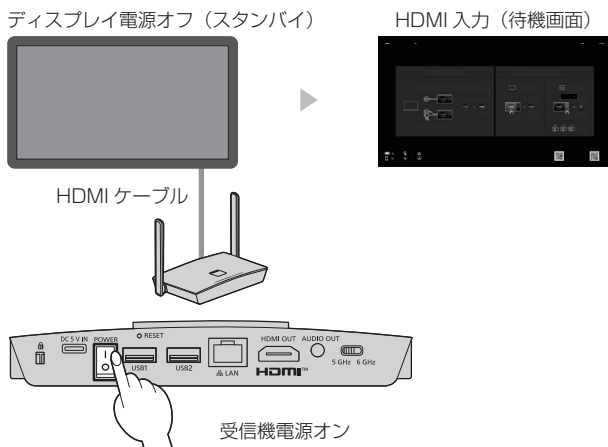
■ CEC-ON 連動

ディスプレイが電源オフ（スタンバイ状態）の場合は、電源オン（受像状態）にします。本機が接続されている入力に切り換えて本機の映像を投射します。

次の 4 通りの操作を行うことで ON 連動します。

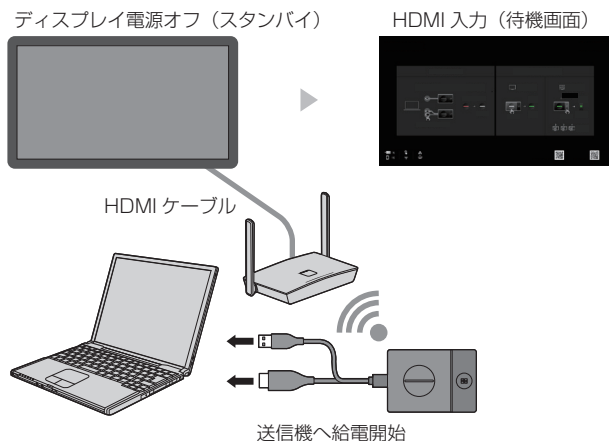
(1) 受信機の電源投入時

受信機の電源をオフからオンにしたとき、ディスプレイの電源がオンになり、受信機が接続されている入力に切り換わります。



(2) 送信機の電源投入時

送信機の USB 端子をパソコンなどに接続して給電が始まると、ディスプレイの電源がオンになり、受信機が接続されている入力に切り換わります。

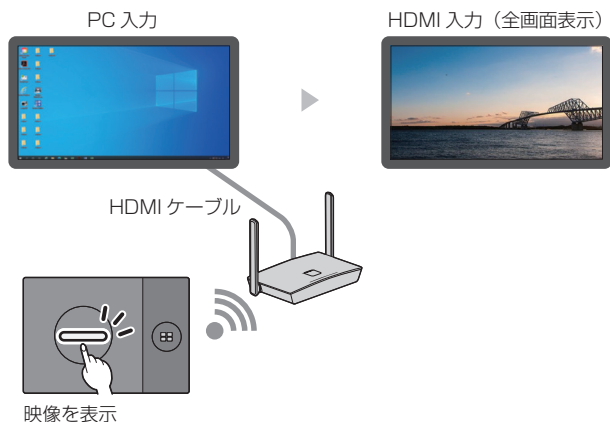


(3) 待機状態に送信機の映像を表示したとき

送信機が待機状態にあるとき、メインボタンを押して映像を受信機に送信すると、ディスプレイの電源がオンになり、映像が表示されます。

ディスプレイの入力は送信機の操作に連動して受信機が接続されている入力に切り換わります。

例：ディスプレイが PC 入力するとき

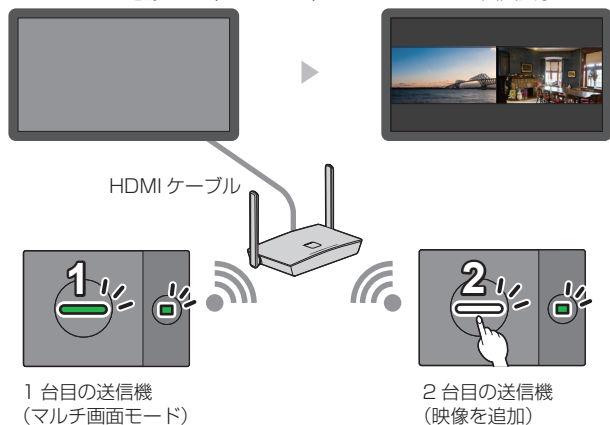


(4) マルチ画面モード時

マルチ画面モード時にメインボタンを押して映像を追加すると、ディスプレイの電源がオンになり、マルチ画面表示になります。

ディスプレイ電源オフ (スタンバイ)

マルチ画面表示

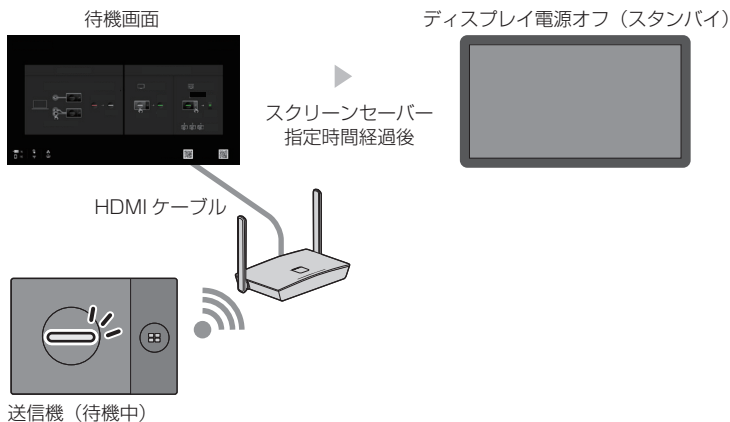


■ CEC-ON 連動

次の 2 通りの操作を行うことでディスプレイを電源オフ（スタンバイ状態）にします。

(1) スクリーンセーバー起動時

送信機が待機状態にあるとき、本機のスクリーンセーバーが起動するとディスプレイの電源がオフになります。



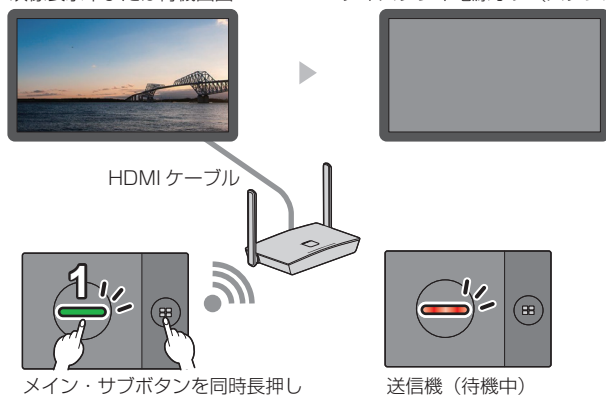
(2) 送信機の待機動作時

送信機を接続している状態で、送信機のメインボタンとサブボタンを同時に長押しするとディスプレイの電源がオフになります。

送信機が待機状態になると、メイン LED は赤色点滅になります。

映像表示中または待機画面

ディスプレイ電源オフ（スタンバイ）



お知らせ

- 送信機を待機状態から復帰させる場合は、送信機の USB 端子を抜き差ししてください。

ファームウェアのアップデート

受信機のファームウェアのアップデート

受信機のファームウェアのアップデートをするには USB メモリーを使用します。

■ 準備物

● USB メモリー

● ファームウェアファイル

最新のファームウェアファイルは、商品 Web サイトに公開されています

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/prodisplays>

■ ファームウェア更新手順

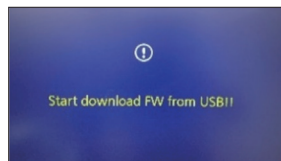
1 商品 Web サイトから、最新のファームウェアファイルをダウンロードする。

2 USB メモリーのトップディレクトリにファームウェアファイルを保存する。

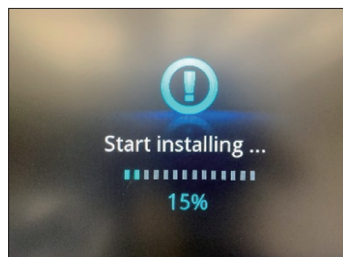
3 受信機を起動する。

4 受信機に USB メモリーを接続する。

- 受信機の待機画面に「Start download FW from USB!!」の画面が表示され、受信機の FUNCTION ボタンの LED が赤白点滅します。



- 受信機が自動で再起動し、「Start installing...」の画面が表示されます。



- 受信機の画面の進捗率が 100% になると、受信機が再起動します。
- 再起動後しばらく（10 秒ほど）すると、再度、受信機が再起動します。

5 ファームウェアのバージョンを確認する。

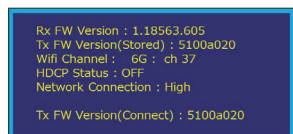
バージョンが変わっていれば、アップデート成功です。

■ 受信機のファームウェアバージョンの確認方法

1 受信機を起動する。

2 待機画面で受信機の FUNCTION ボタンを押す。

機器の情報が表示されます。



3 「Rx Fw Version」の欄を確認する。

お知らせ

- 受信機のファームウェアのバージョンは、Web 設定画面の「基本情報」からも確認できます。

お知らせ

- すでに受信機のバージョンが、ファームウェアファイルのバージョンよりも新しいか同じ場合は、アップデートは開始されません。
- 「Start download FW from USB」の画面が表示中（FUNCTION ボタンの LED が赤白点滅中）は、USB メモリーを受信機から抜かないでください。
- 受信機のファームウェアアップデートに途中で失敗した場合、またはアップデートがいつまでも終わらない場合（目安として 15 分以上進まない場合）は、受信機の電源を切 / 入してください。
- ファームウェアのアップデート中は、別の送信機から映像を送ったり、別のデバイスを受信機の USB 端子に接続したりなどしないでください。

送信機のファームウェアアップデート

送信機のファームウェアアップデートは受信機を経由して実施します。

かならず受信機のファームウェアを最新にアップデートしてから、送信機のファームウェアアップデートを実施してください。

■ ファームウェア更新手順

次のいずれかの方法でアップデートを実施してください。

● 受信機に直接接続してアップデート

1 受信機を起動し、待機画面の状態にする

2 ファームウェアをアップデートしたい送信機のサブボタンを押した状態で、受信機の USB 端子に接続する

受信機の待機画面に「Pairing...」が表示されますが、送信機のサブボタンを押したままにしてください。

3 そのままサブボタンを押した状態にする。

送信機のメイン LED が紫色に点滅し、受信機の画面に「Tranmitter upgrading...」が表示されます。

4 サブボタンを押すのを止める。

進捗率が 100 % となり、「Transmitter update complete」が表示されると、アップデート成功です。

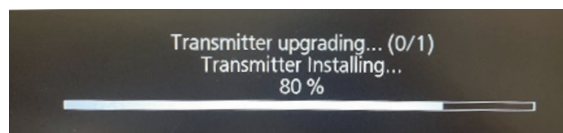
●遠隔でアップデート

- 1 最新のバージョンにアップデートした受信機と、ファームウェアをアップデートしたい送信機をペアリングする。
- 2 ファームウェアアップデートしたい送信機を、サブボタンを押した状態で、パソコンと接続する。
- 3 そのままサブボタンを押した状態にする。

送信機のメイン LED が紫色に点滅し、受信機の画面に「Transmitter upgrading...」が表示されます。

- 4 サブボタンを押すのを止める。

進捗率が 100% となり、「Transmitter update complete」が表示されると、アップデート成功です。



送信機のファームウェアバージョンの確認方法

- 1 バージョンを確認したい送信機を、受信機とペアリングします。
- 2 送信機をパソコンと接続し、起動した状態のままにする。
- 3 受信機の Web 設定画面へアクセスする。

Web 設定画面の「基本情報」から、ペアリングしている送信機のファームウェアバージョンが確認できます。

お知らせ

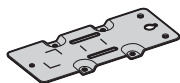
- 送信機のファームウェアのアップデートは、送信機のバージョンにかかわらず、必ず行われます。
- 送信機のファームウェアのアップデート中は、送信機を接続している受信機やパソコンから抜かないでください。
- 送信機のファームウェアアップデートに途中で失敗した場合、またはアップデートがいつまでも終わらない場合（目安として 15 分以上進まない場合）、送信機を接続している受信機やパソコンから抜き差しして、再度ファームウェアアップデートを試してください。
- ファームウェアのアップデート中は、別の送信機から映像を送ったり、別のデバイスを受信機の USB 端子に接続したりなどしないでください。

受信機の設置方法

受信機取付金具の構成部品

以下の部品が入っていることを確認してください。

ベース金具 (A) …1
(DPVF3503ZA/X1)



シート (B) …2
(DPVF3508ZA/X1)
(24 × 20 mm)

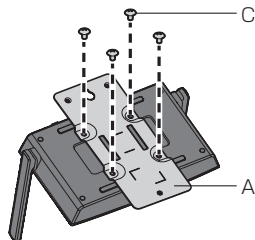


ねじ (C) …4
(DPVF3510ZA/X1)
(M4 × 5)

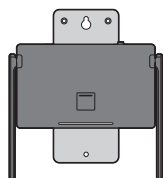


ベース金具の取り付け

- 1 受信機底面のねじ穴 4 カ所に合わせてベース金具 (A) を置く。
- 2 ベース金具 (A) をねじ (C) 4 本で固定する。



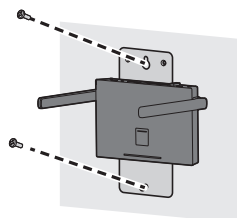
ベース金具は下図のように取り付けてください。



天井や壁面への取り付け

- 1 ベース金具 (A) を受信機に取り付ける。
- 2 ねじ 2 本で受信機を天井や壁面に固定する。

取り付ける天井や壁面の状態によって、適切な種類や長さのねじ（市販品）を使用してください。
(推奨サイズ：M4)



プロジェクターへの取り付け例

固定用のバンドは幅 25 mm 以下の市販品をご用意ください。

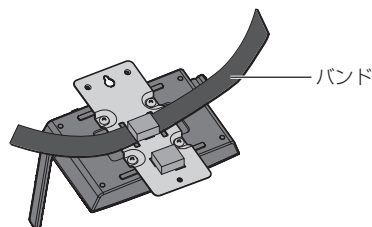
1 ベース金具（A）を受信機に取り付ける。

2 シート（B）2 枚をケガキ線に合わせて金具に貼り付ける。

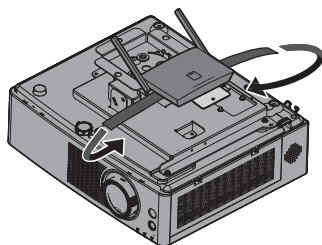
シートは両面テープの剥離紙を剥がして金具に貼り付けた後、保護フィルムを剥がしてください。



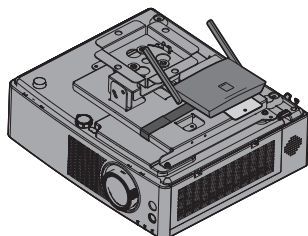
3 ベース金具（A）のスリットにバンドを通す。



4 プロジェクターの天吊りベース金具上に受信機を設置する。



5 バンドを天吊りベース金具にくぐらせるように巻き付けて受信機を固定する。



お知らせ

- ・イラストは PT-VMZ60 です。
- ・プロジェクターの機種によっては、上記の方法で取り付けできない場合があります。

本製品で対応する映像信号

■ 受信機の映像出力解像度

WPS 受信機 (TY-WPR2)	
HDMI 出力信号種	
3840 x 2160@30Hz RGB	3840 x 2160@24Hz
1920 x 1080@60Hz RGB	1920 x 1080@60Hz
4096 x 2160@24Hz	1920 x 1080@50Hz
3840 x 2160@60Hz	1920 x 1080@24Hz
3840 x 2160@30Hz	1280 x 720@60Hz
3840 x 2160@25Hz	1280 x 720@50Hz

■ 送信機の映像入力解像度

WPS 送信機 (TY-WPB2)	WPS USB-C 送信機 (TY-WPBC2)
HDMI 入力対応信号種	USB-C 入力対応信号種
3840 x 2160@30Hz	3840 x 2160@30Hz
1920 x 1080@60Hz	1920 x 1080@60Hz
1920 x 1080@50Hz	1920 x 1080@50Hz
1920 x 1080@30Hz	1920 x 1080@30Hz
1280 x 720@60Hz	1280 x 720@60Hz
1280 x 720@50Hz	1280 x 720@50Hz

お知らせ

- 送信機は、1920 × 1080i などのインターレース信号には非対応となります。

修理を依頼される前に… もう一度次の点をお調べください

こんなとき	ここをお調べください	参照ページ
タッチモジュールの USB ケーブルを受信機に接続してもパソコンにタッチ情報が伝達されない	● タッチモジュールに対応していない機器があります。	11
Web 設定画面のユーザー名・パスワードを忘れてしまった	● 受信機を起動した後にリセットボタンを 5 秒以上押してください。ユーザー名とパスワードが初期化されます。	11
送信機のメイン LED・サブ LED が正常に点灯しない	● 送信機に供給される電力が不足している可能性があります。送信機への給電元を変更してください。	15
HDMI-CEC 機能が動作しない	● ディスプレイやプロジェクター本体の USB 端子から受信機に電源供給する場合は、電源オフ時に電力が不足する場合があります。受信機への給電元を変更してください。	14
送信機をパソコンに接続した際にパソコンの映像が乱れる	● 送信機の対応信号情報をパソコンが判断して映像を最適な解像度に変更している際に発生する現象ですが、故障ではありません	—
パソコンなどの映像を送信中にパソコン映像の解像度を変更すると、映像が乱れたり、無信号映像が表示される。	● パソコンからの信号が変化した際に発生する現象ですが、故障ではありません。	—
WPS USB TYPE-C 送信機 (TY-WPBC2) を接続しても映像が出ない	● 下記 2 つの機能が映像出力機器の USB TYPE-C 端子に搭載されている場合、使用可能です。機器の仕様をご確認のうえご使用ください。 ・ DisplayPort Alt Mode (映像出力機能) ・ 接続した機器への給電機能 (5V/0.9A)	15
ルーターレスマルチキャストの設定がグレースアウトして設定出来ない	● Wireless Display の設定がオンになっています。	37
待機画面が出ない	● HDMI を接続しているディスプレイ・プロジェクターの入力やケーブルをご確認ください。	14
白色／緑色点滅のままになる	● 入力可能な信号が送信機に入力されていません。	57
Wireless Display の設定がグレースアウトして設定できない	● ルーターレスマルチキャストの設定がオンになっていません。	37
TY-WPB1 / WPBC1 のペアリング時に「Pairing NG」となる	● 受信機の設定が 6GHz となっている可能性があります。	13
HDCP 保護のかかった映像が表示されない	● FUNCTION ボタンを押して、HDCP ステータスが ON であるかをご確認ください。OFF の場合は、ブラウザ接続の上、設定を変更して下さい。なお、送信機の HDMI 入力は HDCP1.4 となっております。	33
複数台の受信機を使用しており、映像がカクつくなど不安定	● 無線通信が電波干渉している可能性があります。Web 設定画面の Wireless チャンネルの設定から、各受信機のチャンネルを個別の値に変更してください。	34
TY-WPB1 / WPBC1 と組み合わせて使用すると、映像が表示されなかったり、映像が極端に遅延したりしている	● 送信機のモードスイッチを 1 に切り替えて使用してください。	12
受信機の 5G/6G モードスイッチを切り替えても、モードが変わらない	● 受信機の電源がオンの状態でスイッチを切り替えてください。	17



その他、使用に関して何かご不明点がある場合、下記の URL にアクセスし、よくある質問 (FAQ) のページをご確認ください。

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/prodisplays/supportcenter>

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

修理を依頼されるとき

組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により修理させていただきます。

下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■保証書

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

■補修用性能部品の保有期間

パナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社は、補修用性能部品を、製造打ち切り後5年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるときご連絡いただきたい内容

ご氏名・ご住所・電話番号

製品名・品番・お買い上げ日

故障または異常の内容

訪問ご希望日

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック 業務用ディスプレイサポートセンター

電話 フリーダイヤル



0120-872-002

※携帯電話からもご利用いただけます。

営業時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）

9:00～17:30（12:00～13:00は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは

<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/supportcenter/>

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■ 受信機

品 番	TY-WPR2
製品名	WPS 受信機
映像出力	HDMI × 1 (HDCP2.2)
出力解像度	1920 x 1080/60p、3840 x 2160/60p (最大)
同時接続数	32
ワイヤレス通信規格	IEEE802.11b/g/a/n/ac/ax Bluetooth (GFSK, π /4-DQPSK, 8DPSK)
データレートワイヤレス	2.4 Gbps (最大理論値)
周波数帯域	2.4 GHz 帯 2,400 MHz ~ 2,483.5 MHz 1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13 チャンネル 5 GHz 帯 5,150 MHz ~ 5,250 MHz 36/40/44/48 チャンネル 6 GHz 帯 5,945 MHz ~ 6,425 MHz 1/5/9/13/17/21/25/29/33/37/41/45/49/53/57/61/65/69/73/77/ 81/85/89/93 チャンネル
セキュリティ	WPA/WPA2/WPA3 (WPA3-Enterprise は非対応)
到達距離	5 GHz : 最大 30 m、6 GHz : 最大 20 m (見通しの良い電波条件の良いところ)
FUNCTION LED	*代表的な色と状態について以下に記載しています。
白色点滅	ペアリング中
白色点灯	ペアリング完了
赤白点滅	受信機のファームウェアアップデート
LAN 端子	RJ45 × 1 10BASE-T/100BASE-TX 対応
USB 端子	USB レセプタクル Type-A × 2
音声出力端子	ステレオミニジャック (φ 3.5 mm) × 1 0.25 V [rms]
電源	DC 5 V/2 A
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	156 mm × 26 mm × 97.5 mm (アンテナを含まない)
質量	約 270 g
動作使用条件	温度 : 0 °C ~ 35 °C 湿度 : 20 % ~ 80 % (結露のないこと)
保管条件	温度 : -20 °C ~ 60 °C 湿度 : 20 % ~ 80 % (結露のないこと)

■ 送信機

品 番	TY-WPB2	TY-WPBC2
製品名	WPS 送信機	WPS USB-C 送信機
映像入力	HDMI × 1 (HDCP1.4)	USB Type-C × 1 (HDCP1.4、DisplayPort Alt Mode)
入力解像度	1920 x 1080/60p、3840 x 2160/30p (最大) *インターレス信号は非対応。	
ワイヤレス通信規格	IEEE802.11ac/ax Bluetooth (GFSK, π /4-DQPSK, 8DPSK)	
データレートワイヤレス	1.2 Gbps (最大)	
周波数帯域	5 GHz 帯 5,150 MHz ~ 5,250 MHz 36/40/44/48 チャンネル 6 GHz 帯 5,945 MHz ~ 6,425 MHz 1/5/9/13/17/21/25/29/33/37/41/45/49/53/57/61/65/69/73/77/ 81/85/89/93 チャンネル	
セキュリティ	WPA2/WPA3 (WPA3-Enterprise は非対応)	
到達距離	5 GHz : 最大 30 m、6 GHz : 最大 20 m (見通しの良い電波条件の良いところ)	
メイン LED	*代表的な色と状態について以下に記載しています。	
白色点滅	待機中 (入力信号なし)、ペアリング中	
白色点灯	待機中、ペアリング完了	
赤色点滅	接続中	
赤色点灯	操作不可	
緑色点滅	映像表示中 (入力信号なし)	
緑色点灯	映像表示中	
青色点滅	固定モード中 (入力信号なし)	
青色点灯	固定モード中	
黄色点滅	無線 LAN 経由ペアリング中	
紫色点滅	送信機のファームウェアアップデート	
サブ LED		
緑色点灯	マルチ画面モード中	
電源	DC 5 V/0.9 A	
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	61.3 mm × 19.8 mm × 87.3 mm (ケーブルを含まない) 61.3 mm × 19.8 mm × 297.3 mm (ケーブルを含む)	61.3 mm × 19.8 mm × 87.3 mm (ケーブルを含まない) 61.3 mm × 19.8 mm × 192.3 mm (ケーブルを含む)
質量	約 130 g	約 100 g
動作使用条件	温度 : 0 °C ~ 35 °C 湿度 : 20 % ~ 80 % (結露のないこと)	
保管条件	温度 : -20 °C ~ 60 °C 湿度 : 20 % ~ 80 % (結露のないこと)	

ソフトウェアライセンス

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社（パナソニック プロジェクター&ディスプレイ）が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニック プロジェクター&ディスプレイにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LIBRARY GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (LGPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (6) GPL V2.0、LGPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (3) ～ (6) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、本製品の Web 設定画面からの所定の操作によって [ソフトウェアライセンス] の選択により表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニック プロジェクター&ディスプレイは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口：oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

商標について

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- USB Type-C および USB-C は USB Implementers Forum の商標または登録商標です。
- PressIT はパナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社の商標です。
- Bluetooth およびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の商標であり、パナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社はライセンスに基づき使用しています。
- Microsoft、Windows、Internet Explorer、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Safari は、米国および他の国々で登録された Apple LLC の商標です。
- Chrome、Android は、Google Inc. の登録商標です。
- Firefox は、米国およびその他の国における Mozilla Foundation の登録商標です。
- Miracast™ は、Wi-Fi Alliance の商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

■ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークは EU 域内のみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。